液晶デジタルカメラ

# QV-8000SX

取扱説明書（保証書付き）

DPOF

はじめに

操作のしかた

さまざまな機器との接続

ご参考／保証について

## ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。
本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、別紙の「安全上のご注意」をお読みになり、本書とともにお読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO

# 早分かりガイド

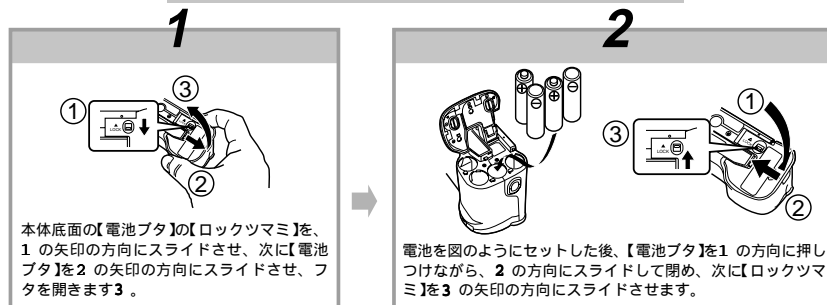
ここでは操作の概要をひと通り説明しています。

## ***電池を入れる***（詳細は34ページ参照）

**1**

本体底面の【電池ブタ】の【ロックツマミ】を、**1** の矢印の方向にスライドさせ、次に【電池ブタ】を**2** の矢印の方向にスライドさせ、フタを開きます**3** 。

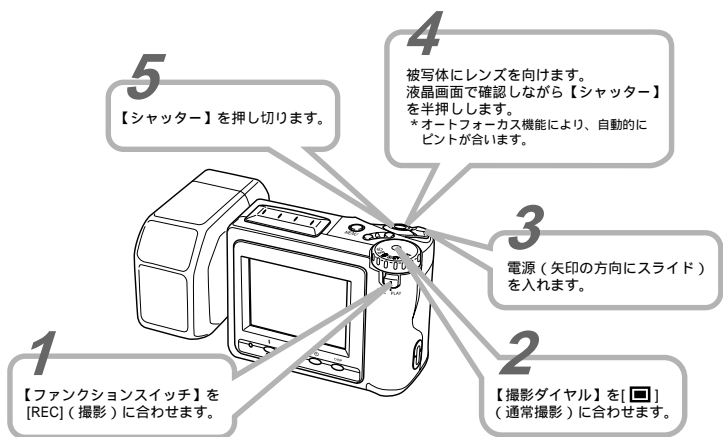
**2**

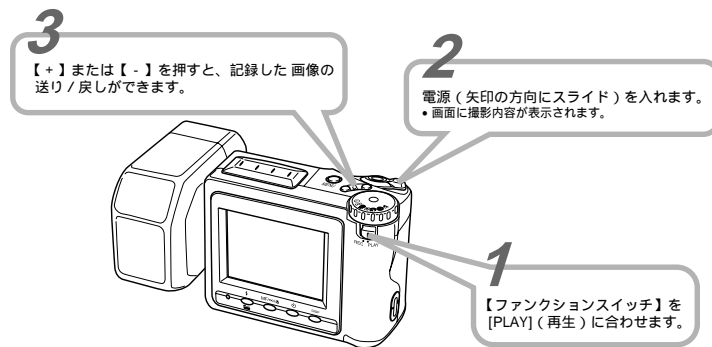
電池を図のようにセットした後、【電池ブタ】を**1** の方向に押しつけながら、**2** の方向にスライドして閉め、次に【ロックツマミ】を**3** の矢印の方向にスライドさせます。

## ***日時を設定する***（詳細は38ページ参照）

日時を設定してください。日時設定を行なわないと「ファイル名」、「タイムスタンプ」の機能が働きません。

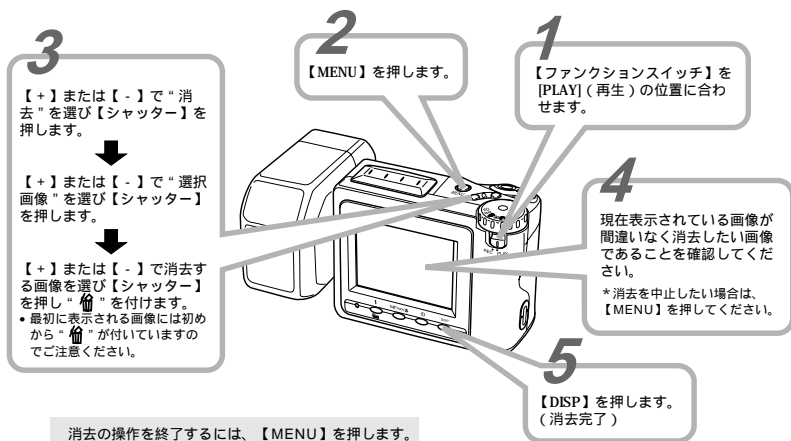


# 早分かりガイド

## ***撮影するには***（詳細は40ページ参照）

# 早分かりガイド

## ***撮影した内容を見るには***（詳細は70ページ参照）

## 早分かりガイド

### いらない画像を消去するには（詳細は81ページ参照）

消去の操作を終了するには、【MENU】を押します。



### あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- デジタルカメラを使って撮影したものは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の商標です：

- Windows、およびInternet Explorerは米国マイクロソフト社の商標です。
- Macintoshは米国アップルコンピューター社の商標です。
- COMPACTFLASH、コンパクトフラッシュ、CFロゴは米国SanDisk社の商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。
- USBドライバはPhoenix Technologies社のソフトウェアを使用しています。




## 目　次

## さまざまな機器との接続 87







## ご参考、および保証等について 98



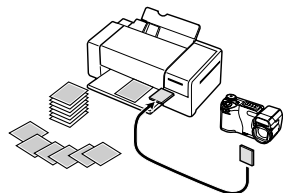


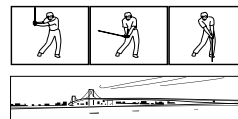
# 本機の特徴

## このカメラでできること

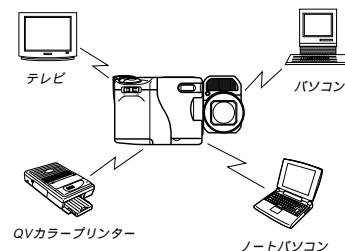
**モータードライブ感覚で連続撮影（49ページ）**
最高画質でも約0.25秒間隔で連続撮影ができます。

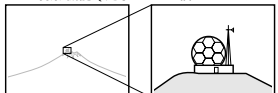
**DCF(Design rule for Camera File system)規格対応（93ページ）**
DCF規格対応の他社のデジタルカメラやプリンターなどと画像の互換が可能です。

**DPOF（Digital Print Order Format）対応でプリントの指定も簡単（84ページ）**
カメラでプリントしたい画像を指定。DPOF対応のプリンターで簡単にプリントアウトできます。また、DPOF対応のサービスラボでも画像の指定を利用してプリントの注文ができます。

**撮影画像を簡単確認（96ページ）**
高容量に対応できるコンパクトフラッシュカード（メモリーカード）を採用
撮影画像をパソコンで一覧表示できるカードブラウザ（HTMLファイル）機能搭載

**デジタルならではの動画・パノラマ機能**
過去に遡って記録されるメモリ機能付きムービープレイ（71ページ）
カメラ内で９枚の画像をパノラマ表示（71ページ）

**わかりやすい操作画面で簡単操作（30ページ）**
グラフィカルな日本語対応メニュー搭載
高精細HAST液晶画面搭載

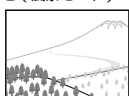
**カシオ独自の高画質化技術**
マルチパターン測光搭載
高画質131万画素CCD搭載
スローシャッター時のノイズを減少

**USB端子、デジタル端子、ビデオ出力端子を使ってシステムアップ（87ページ）**

## こんな機能もあります

◆ 32倍ズーム撮影機能（光学ズーム8倍／デジタルズーム4倍）

（50ページ）

◆ 接写ができるマクロ撮影

（52ページ）

◆ 風景をクッキリと（風景モード）

（57ページ）

◆ 人物を浮き出たせて撮影（ポートレートモード）

（58ページ）

◆ 夜景を鮮やかに撮影（夜景モード）

（56ページ）

◆ 被写体に合わせてシャッター速度を選択（シャッター速度優先）

（60ページ）





## こんな機能もあります

◆ 好みのピント範囲で撮影（絞り優先撮影）

（61ページ）

◆ 撮影した日時を画像に入れる（タイムスタンプ）

（38ページ）

◆ 記念写真などはセルフタイマーで撮影

（58ページ）

◆ １画面に９画像を表示

（72ページ）

◆ 設定した時間に撮影（タイマー）

（59ページ）

◆ 撮影画像を次々に表示（スライドショー）

（74ページ）





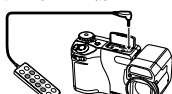
## こんな機能もあります

◆ 画像の一部を拡大して表示

（72ページ）

◆ 誤って消すことを防止（メモリープロテクト）

（79ページ）

◆ リモコンを使って手ぶれを防止

（21ページ）



# 使用上のご注意

## データエラーのご注意

- 本製品は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

ー記録、通信中に電池をはずしたり、ＡＣアダプターをはずした
ー撮影中などにメモリーカードを抜いた
ー電源をOFFにしたときに【動作確認用ランプ】が点灯している状態で電池やACアダプターを抜いた、メモリーカードカバーを開けた、メモリーカードを抜いた。
ー通信中のケーブルはずれ
ー消耗した電池を使用し続けた
ーその他の異常操作

このような場合、次の表示がでてきましたら、画面内容に対応したご処置をお願いいたします。

- メモリーカードが異常です
- フォーマットされていません

➡ 画面に表示されるメッセージとその対処方法。（105ページ）

## 使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、０℃～４０℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所
  ー冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  ー日中の車内、振動の多い場所

## 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋に入れて密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出してください。なお結露してしまった場合は、本機から電池を取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

## 蛍光管について

- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（112ページ）までご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、一日２時間のご使用で約６年間です。
- 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤みを帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

## 撮影時の画面について

- 撮影時、液晶画面に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための「簡易画像」です。
  撮影した内容は、選択した画質モードで記録されており、出力画素数は確保されています。
  ＊ メモリーカードには綺麗な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の液晶画面の表示速度が遅くなったり、画面にノイズが出る場合があります。

## 再生時の画面について

- 再生時、本機では【＋】／【－】によるページめくりの速度を高速化し、操作性の向上を図っています。
  このためページ送り後、瞬時に表示される画像は、一旦「簡易画像」になります。
  記録されている本来の「精細画像」は、ファイルサイズにもよりますが、約２秒後に表示されます。

## レンズについて

- レンズ面が指紋、ゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ部には触れないでください。
  レンズ部の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

## 日付について

- 出荷時、日時設定はされていません。ご使用前に必ず設定してください。（38ページ）
  設定を行なわないと、「ファイル名」、「タイムスタンプ」の機能が働きません。



# 付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

*デジタルカメラ本体*

*メモリーカード（8MB）*

- 出荷時には、デジタルカメラ本体に装着されています。

*リモコン*

*リモコン用リチウム電池（CR2025）*

*ソフトケース*

*レンズキャップ*

*CD-ROM*

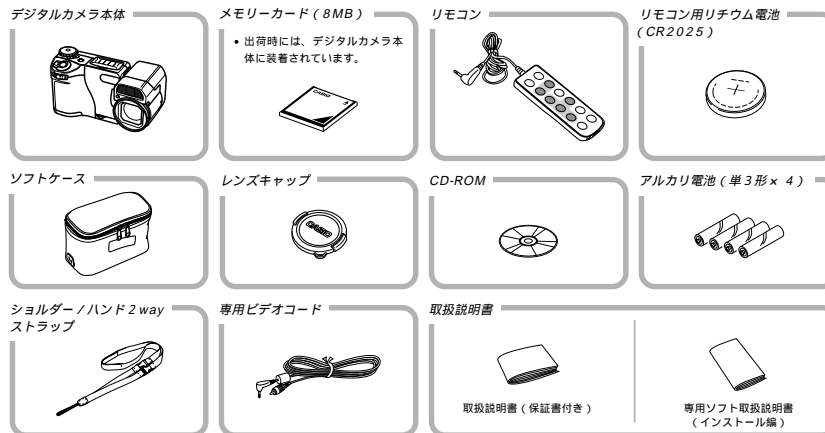
*アルカリ電池（単3形×4）*

*ショルダー／ハンド2wayストラップ*

*専用ビデオコード*

*取扱説明書*

取扱説明書（保証書付き）

専用ソフト取扱説明書（インストール編）


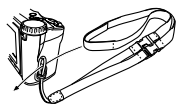



## レンズキャップの取り付けかた

本機をご使用にならないときは、必ずレンズにレンズキャップを取り付けてください。レンズキャップは下図の矢印の部分を押しながら取り付けてください。

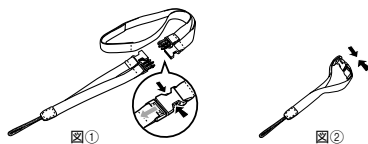
- レンズキャップの裏にはクリップが付いています。外したときに、ストラップにはさみ付けることができます。

## ストラップの取り付けかた

ショルダーストラップとハンドストラップに切り替え可能な２wayストラップです。ストラップは、図のようにストラップ穴に通し、しっかりと引っ張ります。

## ハンドストラップとして使用する場合

ストラップの中間にあるバックル２ケ所を図①のようにはずし、図②のようにねじれないようにとりつけます。バックルは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

図①

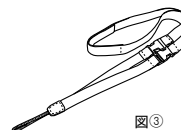
図②

**重要!** カメラ操作時は、落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。



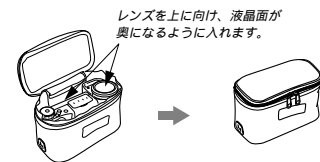
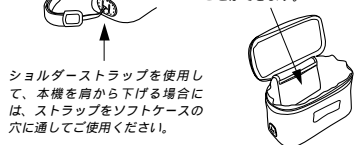


## ショルダーストラップとして使用する場合

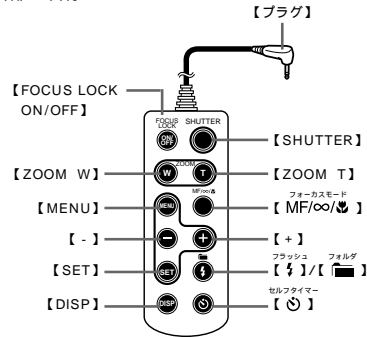
肩パットが内側になるように気をつけて、図③のようにねじれないようにとりつけます。

図③

**重要!**
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。
- ストラップを首にかけたまま本機を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアに挟まったりして、故障やケガの原因となりますのでご注意ください。

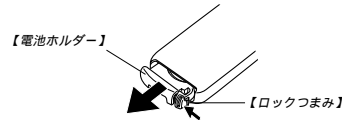
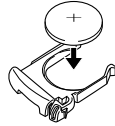
## ソフトケースの使いかた

ご使用にならない時は、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。

## リモコンの使いかた

付属のリモコンを使用して、本機を操作することができます。スローシャッターや望遠での撮影で、三脚と併用すればブレを防ぐことができます。また、プレゼンテーションなどの操作にもご利用できます。

### 各部の名称

### 電池を入れるには

リモコンの電源はリチウム電池（CR2025）を使用します。

*1.* **【電池ホルダー】の【ロックつまみ】を押しながら、【電池ホルダー】を引き出します。**

*2.* **電池を乾いた布で良く拭き、電池の(+)側を上にして入れます。**

*3.* **【電池ホルダー】をリモコン本体に差し込みます。**



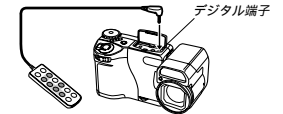


電池が消耗すると、リモコンを正しく操作しても動作が不確実になります。その場合は新しい電池と交換してください。

**■電池注意**

- ●リチウム電池（CR2025）を取り外した場合は、小さなお子様がリチウム電池を誤って飲み込むことがないようにしてください。
- ●リチウム電池は幼児の手の届かない所へ置いてください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- ●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- ●電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- ●使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

### 接続方法

本機の電源をOFFにしてから、リモコンのプラグを本機のデジタル端子に接続します。

### カメラ本体との操作の違い

次のボタンはカメラ本体のボタンとは働きが異なりますのでご注意ください。

【FOCUS LOCK ON/OFF】

撮影時にフォーカスロックの状態にすることができます。ピントを合わせたままの撮影に便利です。

- 再度押すとフォーカスロックは解除されます。
- リモコンの【シャッター】ではフォーカスロックをすることはできません。【シャッター】を押して撮影すると、ピントを合わせてから撮影します。

【SET】

メニュー画面での「決定」操作で【シャッター】の代わりに【SET】が使用できます。

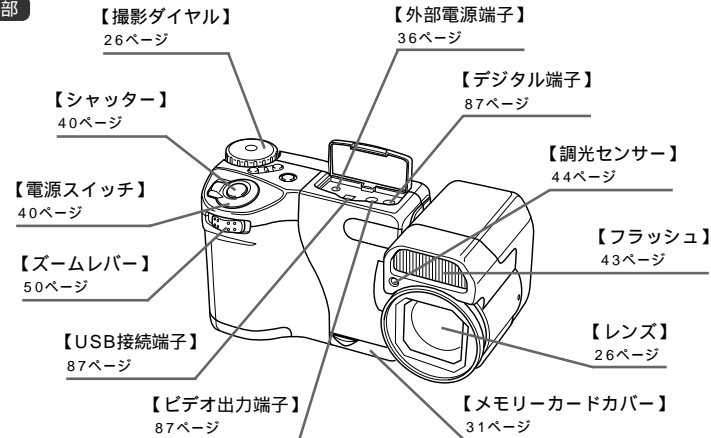
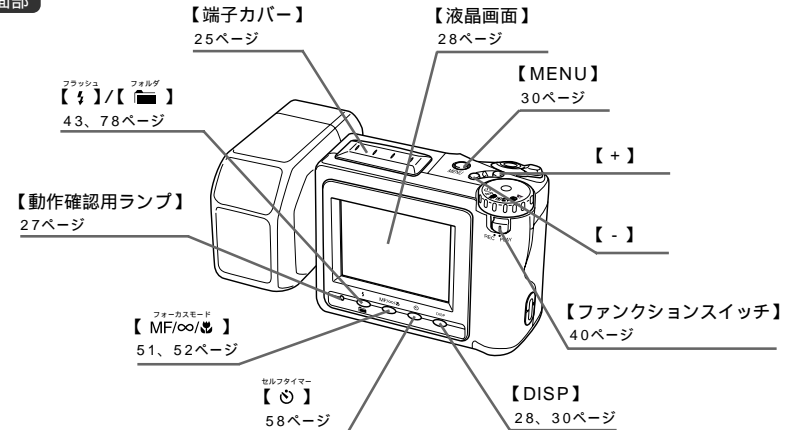
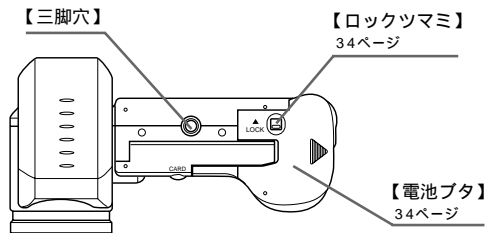
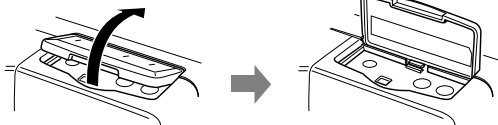


# 各部の名称

この取扱説明書中では、本機の各部の名称は以下の【　】内の呼びかたを使います。
スイッチやボタンの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

**前面部**

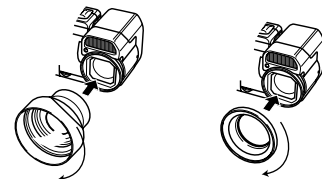
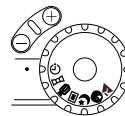
**後面部**

## 底面部

**端子カバーの開きかた**

## 撮影ダイヤル部

- タイマー撮影 .........（59ページ）
- パノラマ撮影 .........（55ページ）
- ムービー撮影 ........（53ページ）
- 通常撮影 ................（40ページ）
- 夜景撮影 ................（56ページ）
- ポートレート撮影 ...（58ページ）
- 風景撮影 ................（57ページ）

### レンズについて

本機のレンズにはネジきりがあり、別売品のコンバージョンレンズや市販のフィルターを取り付けることができます。
本機は別売品のコンバージョンレンズを取り付けることにより、焦点距離を1.5倍に延長もしくは0.7倍に短縮して、さらに望遠または広角にすることができます。

- テレコンバージョンレンズ　LU-8T ：倍率1.5倍
- ワイドコンバージョンレンズ　LU-8W ：倍率0.7倍

テレコンバージョンレンズ　ワイドコンバージョンレンズ

適合フィルター径：43mm

**重要!**
- テレコンバージョンレンズはズームを広角側にして使用するとケラレ（フィルターの枠などで光線がさえぎられることによりできる黒い影）が生じますので、望遠側でご使用ください。
- テレコンバージョンレンズ使用時は手ぶれが発生しやすいので、必ずコンバージョンレンズに付属の三脚用ステーと市販の三脚をご使用ください。
- ワイドコンバージョンレンズは性質上、画像に歪みを生じることがあります。ご注意ください。
- ワイドコンバージョンレンズ使用時は、必ずマクロ撮影（🌷）モードに切り替えてください。他のフォーカスモードではピントが合いません。





- フィルターによっては次のようなことがあります。ご確認のうえご購入ください。
  - ＊画面の周辺部にケラレ（フィルターの枠などで光線がさえぎられることによりできる黒い影）が生じる。
  - ＊オートフォーカスおよび、フラッシュの性能が十分に発揮できない。
  - ＊銀塩カメラと同様の効果が得られない。
- フィルターを２枚以上重ねて使用しないでください。
- レンズフードを使用するとフラッシュが正常に発光しません。

### 動作確認用ランプについて

【動作確認用ランプ】

【動作確認用ランプ】は操作によって、点灯したり、点滅したりします。点灯／点滅する色によって次の内容を表しています。

**■撮影時**

| 発光色 | 点　灯 | 点　滅 |
|---|---|---|
| 緑色 | ピント合わせ完了／液晶画面オフ時（スリープ中、通信中） | 起動中／記録中／電源OFF準備中／バッテリー警告 |
| オレンジ色 | 露出警告 | フラッシュ充電中 |
| 赤色 | ピント合わせ不可／メモリー容量オーバー／フラッシュ充電不可 | メモリーカード異常 |

- 消灯は撮影可能を意味します。

**■再生時**

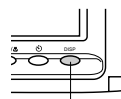
| 発光色 | 点　灯 | 点　滅 |
|---|---|---|
| 緑色 | 液晶画面オフ時（通信中） | 起動中／消去中／フォーマット中／電源OFF準備中／バッテリー警告 |
| 赤色 | ― | メモリーカード異常 |

**■電池警告時**

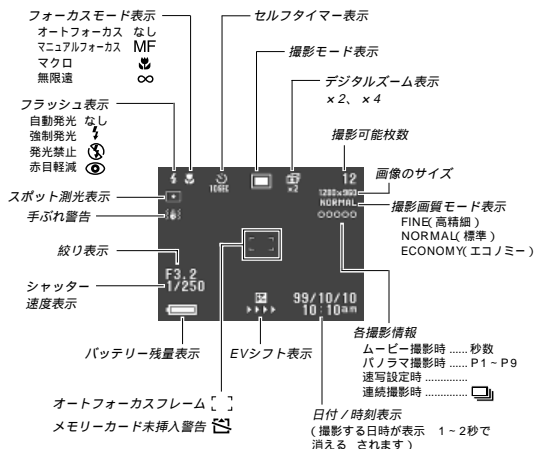
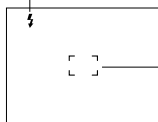
赤色点灯後自動的に電源OFF



# 画面情報表示

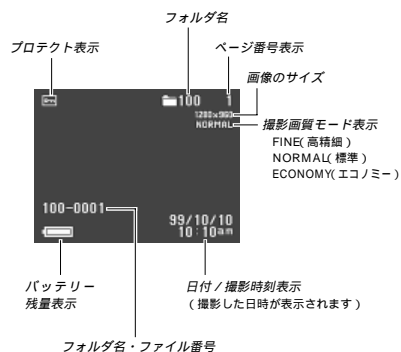
【DISP】を押すと、画面にさまざまな情報を表示することができます。

【DISP】

## 撮影モード時

撮影モードで液晶画面に表示される項目について説明します。

### シャッター半押し時

### 撮影モード表示

| | | | |
|---|---|---|---|
| | タイマー撮影 | | 夜景撮影 |
| | パノラマ撮影 | | ポートレート撮影 |
| | ムービー撮影 | | 風景撮影 |
| | 通常撮影 | | |

## 再生モード時

再生モードで液晶画面に表示される項目について説明します。

## メニュー画面

【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。メニューの内容は撮影モードと再生モードでは異なります。また、【DISP】を押すと「イージーメニュー」と「詳細メニュー」が切り替わります。
イージーメニュー、詳細メニューの両方で使用できる機能については、本書ではイージーメニューをもとに説明しています。

イージーメニュー：基本的な機能に絞った設定ができます。
詳細メニュー　　：すべての機能の設定ができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）、または［REC］（撮影）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【DISP】を押して「イージーメニュー」か「詳細メニュー」に切り替えます。**
4. **【＋】または【－】で「分類」や「項目」を選び【シャッター】を押します。**
   - 各項目の設定は操作ガイドにしたがって操作してください。
   【＋】【－】　　：項目を選択します。
   【シャッター】：選択した項目に決定します。
   【MENU】　　：前の画面に戻ります。
   　　　　　　　設定をキャンセルします。
5. **設定が終わったら“終了”を選び、【シャッター】を押します。**

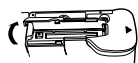
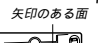
メニューの詳しい内容については「撮影メニュー」（66ページ）「再生メニュー」（76ページ）を参照してください。

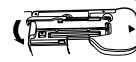
# メモリーカードについて

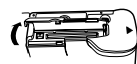
本機は、撮影画像の記録用としてメモリーカード（コンパクトフラッシュカード）を使用しています。
メモリーカードは出荷時には装着された状態になっています。

**重要!**
- メモリーカードの抜き差しの際は、電源を切った状態で行なってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがありますのでご注意ください。

## メモリーカードを入れるには

1. **【メモリーカードカバー】を開きます。**

2. **メモリーカード表面の矢印を下にして、しっかり押し込みます。**
   - 【イジェクトボタン】が出ているときは、【イジェクトボタン】を押し込んでからメモリーカードを入れてください。



3. **【メモリーカードカバー】を閉めます。**

## メモリーカードを取り出すには

1. **【メモリーカードカバー】を開きます。**

2. **【イジェクトボタン】を押します。**
   - １回押すと、【イジェクトボタン】が飛び出します。



3. **【イジェクトボタン】を深く押し込みます。**

4. **メモリーカードを取り出します。**

5. **【メモリーカードカバー】を閉めます。**

**重要!**
- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入部にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部内に入り込んだ場合は、本体の電源を切り電池・ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
- メモリーカードの挿入部を下にしたまま、カードを取り出さないでください。
  メモリーカードが落下して、故障やデータが破壊する場合があります。

## メモリーカードのフォーマット（初期化）

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容をすべて消去します。
- 画像データにメモリープロテクト（79ページ）をかけていても、メモリーカードのフォーマットを行なうと、すべてのデータが消去されます。

**重要!** 一度メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。
フォーマットを行なう際は、本当にフォーマットしてもよいかをよく確かめてから行なってください。

1. **【MENU】を押します。**
2. **【＋】または【－】で“設定”を選び【シャッター】を押します。**
3. **【＋】または【－】で“フォーマット”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で“はい”を選び【シャッター】を押します。**

## メモリーカードの注意事項

- 本機はメモリーカードが装着されていないと画像が記録されません。必ずメモリーカードを装着してください。
- メモリーカードは必ずカシオ製コンパクトフラッシュカードを使用してください。
  他社のメモリーカードをお使いの場合の動作保証はできません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅（破壊）することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にバックアップして控えを取ることをおすすめします。
- 万が一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作（105ページ）で復帰できますが、外出先などでこの操作を行なえない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たに別売のメモリーカードをご購入された場合は，一度フォーマット（初期化）してお使いいただくことをお勧めいたします。
- フォーマットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池またはリチウム電池を使用してください。
  フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行なわれず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

## メモリーカード内のフォルダに関する注意事項

本機はメモリーカード内に、フォルダ（ディレクトリ）を自動的に作成します。撮影した画像は月日を名前としたフォルダの中に自動的に記録します。最大900個のフォルダを作ることができます。フォルダ名は次の通りです。

連番（3桁）＋ アンダーバー（_）＋ 月（2桁）＋ 日（2桁）
例： 100（連番）、7月19日撮影
100_0719

各フォルダには最大250個の画像ファイルが登録でき、251枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。メモリーカードにはさまざまな制御用のファイルが記憶されていますが、画像ファイルは下記の通りです。

月（2桁）＋ 日（2桁）＋ 連番（4桁）＋ 拡張子（.JPG/.AVI）
例： 11月7日の26番目に撮影の画像
11070026.JPG

- メモリーカード内に保存できるフォルダ数、ファイル数はメモリーカードの容量や画質によって異なります。
- パノラマファイルは通常の画像ファイルに分割して保存されています。
- メモリーカード内の詳しいディレクトリ構造に関しては「パソコンでメモリーカードをご利用になるには」（93ページ）をご覧ください。



# 電源について

本機は、乾電池（単3形アルカリ電池および、リチウム電池）、別売の充電池または家庭用電源を利用できます。

## 電池を入れるには

電池交換の際は、電源を切った状態で行なってください。

1. **本体底面の【電池ブタ】の【ロックツマミ】を、①の矢印の方向にスライドさせ、次に【電池ブタ】を②の矢印の方向にスライドさせ、フタを開きます③。**

2. **電池を図のようにセットした後、【電池ブタ】を①の方向に押しつけながら、②の方向にスライドして閉め、次に【ロックツマミ】を③の矢印の方向にスライドさせます。**

- 必ず単3形の指定電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- 電池をセットしたら、必ず【ロックツマミ】を“▲”（ロック）側にスライドさせてください。
  確実にロックしないと【電池ブタ】が開いて、けがや事故につながるばかりでなく撮影データ等が破壊する場合があります。

## 電池持続時間の目安

本機では乾電池（単3形アルカリ電池及びリチウム電池）、指定の充電池が利用できます。
以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

| 使 用 電 池 | 連続再生時 | 連続撮影時 |
|---|---|---|
| 単3形アルカリ電池　LR6 | 約 160分 | 約 500枚撮影可能*1 |
| 単3形リチウム電池　FR6 | 約 280分 | 約 1020枚撮影可能*1 |

アルカリ電池は松下電池工業（株）製、リチウム電池は富士写真フィルム（株）製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。

### ■充電式電池のご利用について

充電式電池は、別売品のニッケル水素蓄電池（NP-H3）をお使いください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

- ACアダプターチャージャーBC-3HA
- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セットBC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池（4本セット）NP-H3P4

**重要!**
- 電池は、必ず同じ製品を4本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたりカメラの故障の原因となります。
- 本機では充電できません。





| 使 用 電 池 | 連続再生時 | 連続撮影時 |
|---|---|---|
| ニッケル水素蓄電池 Ni-MH（1450mAh） | 約 160分 | 約 620枚撮影可能*1 |

参考
*1 連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに、各撮影につきズームレンズをテレ端～ワイド端で1回動作させて撮影した場合の撮影可能枚数です。
フラッシュやズームなどの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影枚数は大幅に異なります。
各電池の特性の違いからバッテリー残量表示の変化のスピードも各々で異なります。

### ■電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュ【⚡】を押して発光禁止“ ”に設定してご使用いただくと電池持続時間が長くなります。
- 省電力設定（63ページ）を使用することにより、電源の切り忘れなどのむだな電力消費をおさえることができます。

### ■電池特性による注意事項（低温下での使用について）

- このデジタルカメラは大きな電流を必要とする製品です。アルカリ電池は低温時に使用すると常温（25℃）時に比べ、著しく電池寿命が短くなる傾向があります。0℃で使用した場合、このカメラの持続時間は1/5程度まで落ちる場合があります。低温下でご使用される場合は、あらかじめ予備のアルカリ電池を用意していただくか、低温でも著しい特性の変化のないリチウム電池かニッケル水素蓄電池のご使用をおすすめします。

## 電池使用時の注意事項

- ●電池は使いかたを誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- ●電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- ●使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

## バッテリー残量／警告表示

本機の電池が消耗すると本機の画面左下のバッテリー残量表示が“ ”→“ ”→“ ”→“ ”と変化します（画面情報表示時（28ページ））。“ ”, “ ”の状態で使用し続けると、自動的に電源が切れます。
速やかに4本とも新しい電池と交換してください。





## オートパワーオフ機能（電池使用時のみ）

本機の電源を入れたままで、一切の操作を行なわずに放置すると、節電のために自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、再生モード*は5分、撮影モード*では切／2分／5分／10分の設定ができます。設定は「省電力設定」（63ページ）で行ないます。再び使用するときは、電源を入れ直してください。

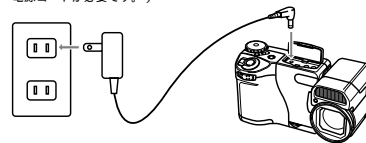
＊【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置にセットした状態を「撮影モード」、［PLAY］（再生）の位置にセットした状態を「再生モード」と呼びます。

**重要!** 以下の状態では、オートパワーオフは働きませんので、ご注意ください。

- スライドショー中（74ページ）
- 本機のデジタル端子やUSB端子を通じて本機を外部のパソコンやプリンターなどと接続しており、外部機器で本機を操作しているとき（87～92ページ）
- ACアダプターを接続しているとき

## 家庭用電源を使うには

家庭用電源から電源を取るには、別売品の専用ACアダプター（AD-C620J）またはACアダプターチャージャー（BC-3HA）をご利用ください。

＊ AD-C620Jは米国などAC100～120Vの電源地域への旅行の際はそのままご使用になれます。
＊ BC-3HAはAC-100～240Vの電源に対応しており、海外への旅行の際もご使用になれます。（海外でのご使用では、各地域に合った市販の電源コードが必要です。）

## ACアダプター使用時の注意事項

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります（ACアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・故障・感電の原因となります。

禁　止

- ACアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際には、必ず本機の電源を切った状態で行なってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行なうと、製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。



# 日時設定について

日付および、時刻を設定します。
この日時は、ファイル名やファイル情報、画像上に貼り付けられる「タイムスタンプ」などに利用されます。「タイムスタンプ」の切／入の切り換え方法については６６ページの「撮影メニュー」を参照してください。

**重要!**
- 電池や、ACアダプターで電源が供給されていないと、約２４時間で日時がリセットされます。
- 時刻が点滅した場合は、日付設定がセットされていない、またはリセットされていることが考えられますので、日時設定をしてください。
- 日時設定を行なわないと、「ファイル名」「タイムスタンプ」の機能が正しく働きません。必ず設定してください。

## 日付および時刻を設定する

*1.* **【MENU】を押します。**

*2.* **【+】または【−】で“設定”を選び【シャッター】を押します。**

*3.* **【+】または【−】で“日付”を選び【シャッター】を押します。**

*4.* **【+】または【−】で“時刻設定”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **時刻と日付を指定します。**
- 【+】または【−】を押し続け、緑色の印が点灯している部分の数字などを変えて【シャッター】を押します。
他の部分が緑色に点灯するので、同様に設定します。

*6.* **設定が終了したら【DISP】を押します。**





## 日付の表示スタイルを変更する

画面上での日時の表示方法を下記の３通りの中から選ぶことができます。

例）１９９９年9月12日
９９／９／１２、１２／９／９９、９／１２／９９と表示します。

*1.* **【MENU】を押します。**

*2.* **【+】または【−】で“設定”を選び【シャッター】を押します。**

*3.* **【+】または【−】で“日付”を選び【シャッター】を押します。**

*4.* **【+】または【−】で“表示スタイル”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **【+】または【−】で日付のスタイルを選び【シャッター】を押します。**

## 表示メッセージの切り替え

画面のメッセージを日本語／英語表示の切り替えができます。

*1.* **【MENU】を押します。**

*2.* **【+】または【−】で“設定”を選び【シャッター】を押します。**

*3.* **【+】または【−】で“Language/言語”を選び【シャッター】を押します。**

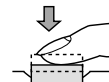
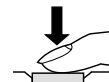
*4.* **【+】または【−】で表示する言語を選び【シャッター】を押します。**



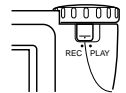
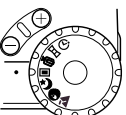
# 撮影する

## シャッターの押しかた

本機は、オートフォーカス機能により自動的にピントを合わせることができます。

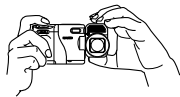
*1.* **【シャッター】を軽く押します（半押し）。**

*2.* **【シャッター】を押します（押し切る）。**

## 基本的な撮影

最も基本的な撮影のしかたです。以下の手順で操作してください。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【撮影ダイヤル】を［ ▣ ］（通常撮影）に合わせます。**
- 【撮影ダイヤル】横の［ • ］に［ ▣ ］（通常撮影）を合わせます。

*3.* **【電源スイッチ】を矢印の方向にスライドさせます。**

- 【電源スイッチ】は、指を離すと元の位置に戻ります。
- 電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度スライドさせてください。

*4.* **撮影する被写体にフレームを合わせて、【シャッター】を半押しします。**

- オートフォーカス機能により、自動的にピントが合います。
- ピントが合うと、【動作確認用ランプ】が緑色に点灯します。また、液晶画面上にもオートフォーカスフレームが緑色で表示されます。
- レンズと各センサーを指でふさがないようにご注意ください。

- 接写撮影したい場合は52ページの「マクロ撮影」を参照してください。

*5.* **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押し切ります。**

- 画質によって保存できる枚数が異なります（46ページの「画質モードの切り替え」を参照してください）。
- ピントが合っていない状態でも【シャッター】が切れます。
- 手ぶれを起こさないために、【シャッター】は静かに押してください。
- スローシャッターのときや、望遠で撮影するときは、手ぶれ防止のため三脚とリモコンの使用をおすすめします。

**重要!** オートフォーカスの苦手な被写体
- 階調のない壁などコントラストが少ない被写体
- 強い逆光のもとにある被写体
- 光沢のある金属など明るく反射している被写体
- ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
- カメラからの距離が異なるいくつもの被写体があるとき
- 暗い場所にある被写体
- 手ぶれをしているとき

前記のような被写体に対しては、ピントが合わず【動作確認用ランプ】が赤色に点灯することがあります。また、液晶画面上にもオートフォーカスフレームが赤色で表示されます。
このような場合には、フォーカスをマニュアルに切り替えて撮影してください（51ページ）。
ピントが合わないときは、自動的に固定位置に焦点を合わせ、撮影されます。

明るい場所での撮影時 ......................... 1.5m以上
フラッシュを使用しての撮影時 ......... 約2m





## 撮影時の注意事項

- 【動作確認用ランプ】が緑色点滅している間に【電池ブタ】を開けることは、絶対におやめください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードに記録中は、電池・ACアダプターおよび、メモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光燈照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光燈のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

## 撮影キャンセルのしかた

撮影した画像を、撮影した瞬間に失敗したことがわかれば、記録時間を待つことなく次の撮影に移ることができます。

*1.* **撮影後、「(DISP)でこの画像の記録を中止」と表示されているときに【DISP】を押すと、画像の記録がキャンセルされます。**

- 記録がキャンセルされた場合は、「記録を中止しました」が表示されます。

**重要!**
- ムービー撮影、タイマー撮影、速写撮影時はこの機能は動作しません。
- なにも操作しない場合は、メモリーカードに保存されます。

## フォーカスロック撮影

撮影したい構図でオートフォーカスフレームに入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロック撮影を行ないます。

**参考** • フォーカスロックと同時に露出もロックされます。

*1.* **ピントを合わせたい被写体をオートフォーカスフレーム内にとらえ【シャッター】を半押しします。**

- ピントが合うとオートフォーカスフレームが緑色になります。
- リモコン使用時は【FOCUS LOCK ON/OFF】を押します。押すごとにフォーカスロックのオン、オフが切り替わります。

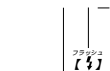
*2.* **【シャッター】を半押ししたまま、撮影する構図にレンズを移動させます。**

*3.* **【シャッター】を押します。**

## フラッシュ撮影

フラッシュを使った撮影ができます。

*1.* **【⚡】を押します。**

- 【⚡】を押すごとに、自動発光 → 強制発光“⚡”→ 発光禁止“⊘”→ 赤目軽減“◉”の順番で撮影状態が切り替わります。
- フラッシュの充電中は液晶画面が消え【動作確認用ランプ】がオレンジ色に点滅します。

【動作確認用ランプ】

| 画面表示 | 発光状態 |
|---|---|
| 表示なし | 「自動発光」露出に合わせて自動的に発光します。 |
| ⚡ | 「強制発光」露出に関係なく強制的に発光します。 |
| ⊘ | 「発光禁止」露出に関係なく発光しません。 |
| ◉ | 「赤目軽減」プリ発光してから再度発光します。（人物を撮るときに目が赤くなることを軽減します。） |





### ■手ぶれ警告について

ズームを望遠側にしているときや、シャッター速度が遅くなると、“✋”（手ぶれ警告）が液晶画面上に表示されます。

**重要!** •“✋”（手ぶれ警告）が出たら、三脚やリモコンを併用してください。

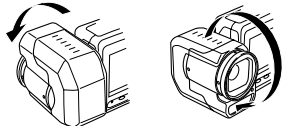
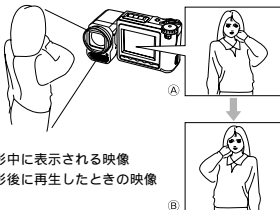
### ■フラッシュ発光表示について

【シャッター】を半押ししたときに、これからフラッシュが発光する場合は、液晶画面上にフラッシュのアイコンが表示されます。

**重要!** • フラッシュの発光部や調光センサー部分が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうと本来の効果が得られません。

- フラッシュによる撮影距離は次の範囲です。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
  通常撮影時： 約0.5m ～ 約2.5m
  マクロ撮影時： 約0.1m ～ 約0.5m
- フラッシュの充電は、その時の使用条件（電池の種類、状態や温度等）により数秒～10秒程度かかります。
- ムービー撮影モードになっているときは、フラッシュは発光しません。このとき“⊘”マークが点灯します。
- 電池が消耗してくるとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき“⊘”マークが点灯し、フラッシュが正常に発光せず適性な露出が得られないことを示します。速やかに新しい電池と交換してください。
- 被写体がカメラの方に視線を向けていない場合や被写体までの距離が遠い場合には、赤目軽減効果が現れにくい場合があります。
- 赤目軽減モードでは、露出に合わせて自動的に発光するため明るい場所でのフラッシュ発光はしません。
- フラッシュを使用した場合は、ホワイトバランスが固定されるため、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。

## レンズ部の回転

本機のレンズ部は回転する構造になっており、自由なアングルで被写体を捉えることができます。

- レンズ部を手前に回転させた場合は、液晶画面に表示される映像は反転し鏡像（左右が逆の映像）となります。この状態で撮影を行なった場合、再生した映像は正像に戻ります。

Ⓐ ....... 撮影中に表示される映像
Ⓑ ....... 撮影後に再生したときの映像

**重要!**
- レンズ部は、回転範囲を越えて無理に回そうとしないでください。無理な力を加えると、レンズ部が折れるなど破損するおそれがあります。
- レンズ部のみを持って持ち運んだり、ふり回したりしないでください。
- 本機の保管時は、レンズ部は元の状態（レンズを上に向け、本体に対して傾きのない状態）に戻しておいてください。
- レンズを下に向けた状態で置かないでください。レンズの周りのリングが曲がることがあります。
- 撮影時以外はレンズキャップを取り付けて保管してください。





## 画質モードの切り替え

本機は、撮影する内容に応じて、画質の切り替えができます。
画質モードの切り替えはメニュー設定画面で変更します。
操作方法は、66ページ「撮影メニュー」を参照してください。

それぞれの撮影可能枚数は以下の通りです。

| 撮影画質 | 出力画素数 (pixels) | ファイルサイズ | メモリーカード使用時 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 48MB (別売) | 8MB (付属) |
| 高精細 (FINE) | 1280×960 | 約500KB/枚 | 約88枚 | 約13枚 |
| | 640×480 | 約150KB/枚 | 約268枚 | 約39枚 |
| 標準 (NOMAL) | 1280×960 | 約350KB/枚 | 約122枚 | 約16枚 |
| | 640×480 | 約120KB/枚 | 約327枚 | 約48枚 |
| エコノミー (ECONOMY) | 1280×960 | 約200KB/枚 | 約206枚 | 約29枚 |
| | 640×480 | 約90KB/枚 | 約418枚 | 約63枚 |

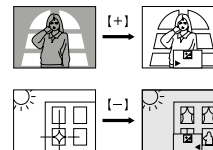
- 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため記録枚数は変化します。
- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。
- 1つのフォルダに保存される画像数に制限があるため（最大250枚）、上記の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります。
- カードブラウザ（HTMLファイル）機能を"タイプ1～4"にしている場合、上記撮影可能枚数と異なることがあります（96ページ）。

## 露出補正

本機は、撮影時の明るさに応じて、シャッタースピードと絞りを自動的に変化させる「プログラムAE」を行なっています。このプログラムAE機能とは別に、露出値（EV値）を一定範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影時などに利用すると、より良好な画像が得られます。

*1.* **【+】または【−】を押すと露出補正（EVシフト）され、画面に“ ▶ ”が表示されます。**

| キー | 内　　容 |
|---|---|
| 【+】 | 室内などの暗い場所、逆光での撮影をするときに押す |
| 【−】 | 晴天の屋外などでの撮影をするときに押す |

【+】
【−】

- 補正値の限界になると“ ▶ ”が赤の表示になります。





*2.* **適切な明るさになったら【シャッター】を押してください。**

**参考**
- 露出補正値は【＋】または【－】を押すごとに、0.25EV刻みで、－2EV～+2EVの範囲で変化させることができます。
- 露出補正値は【シャッター】を押すごとにリセットされて0に戻ります。【シャッター】を押さずにリセットしたい場合は、反対方向に露出補正し、“ ▶ ”を消します（パノラマ撮影時、EVシフトは固定されます）。

**重要!** 露出補正値は、明るすぎたり暗すぎたりする環境では、－2EV～+2EVの範囲内でも変化できない場合があります。



# その他の撮影方法

本機では、通常撮影以外にもいろいろな撮影方法があります。

## 速写撮影

速写機能（Quick Shutter）を設定しますと、約1秒間隔で続けて5枚まで次の撮影をすることができます。被写体を次々に撮影するときに、たいへん便利です。
- 通常撮影、夜景撮影、風景撮影、ポートレート撮影モードでのみ使用できます。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **撮影メニュー（66ページ）中の“ 撮影機能1 ”→“ シャッターモード ”を“ 速写撮影 ”に切り替えます。**
- この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。
- 設定されますと、撮影画質モード表示の下に“ ○○○○○ ”が表示されます。

*3.* **【シャッター】を押して1枚撮影すると、○が●に変わります。**
- 撮影された画像は、いったん本機に内蔵のバッファメモリーに記憶され、順次メモリーカードに保存されます。バッファメモリーがいっぱい（5枚まで）になるまで速写撮影を続けることができます。ただし、夜景撮影やシャッター速度固定時にシャッター速度が遅くなる場合は、4枚までになります。

**重要!**
- メモリーカードに書き込み中は、【動作確認用ランプ】が点滅しています。このときに、メモリーカードは絶対に抜かないでください。画像が消滅します。
- メモリーカードへの書き込み中は、撮影ダイヤルを回しても、他の撮影モードに切り替わりません。
- 電池が残り少ないときは、“ シャッターモード ”を“ 一枚撮影 ”にしてください。
- メモリーカードに保存せずに電源が切れると、画像は記録されません。
- 次の場合には、約1秒間隔で撮影ができません。
  フラッシュの充電中／夜景撮影やシャッター速度固定時でシャッタースピードが遅くなった場合／オートフォーカスを合わせるのに時間がかかった場合など
- バッテリー残量表示が“ ▭ ”の場合は“ 速写撮影 ”に設定していても、メモリー保護のため、自動的に“ 一枚撮影 ”の動作になります。

## 連続撮影

シャッターを押し続けることで、約0.25秒間隔で最大5枚の連続撮影ができます。
• 通常撮影、夜景撮影、風景撮影、ポートレート撮影モードでのみ使用できます。

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2. 撮影メニュー（66ページ）中の"撮影機能1"→"シャッターモード"を"連続撮影"に切り替えます。
• この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。
• 設定すると" "が表示されます。

3. 被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押し続けます。

**重要!**
• ピントは最初の一枚目で固定されます。
• 連続撮影では、フラッシュの発光はしません。
• シャッター速度が遅くなると0.25秒間隔よりも遅くなる場合があります。
• 夜景撮影やシャッター速度を固定時に、シャッター速度が遅くなる場合は撮影枚数が4枚までになります。
• バッテリー残量表示が" "の状態で撮影しないでください。
• メモリーカードへのデータ記録時間は、約10秒（5枚時）かかります。
• メモリーカードへの記録中は電池・ACアダプターおよび、メモリーカードを抜かないでください。





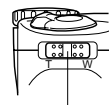
## ズーム撮影

ズーム撮影には、光学／デジタルの2種類があります。

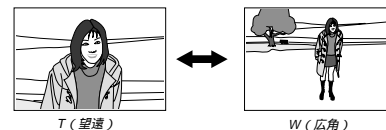
### 光学ズーム撮影

光学ズームは、レンズの焦点距離を変更することによってズーム撮影します。
ズーム範囲は8倍までです。

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2. 【ズームレバー】をスライドしてズーミングを行ない、写る範囲や大きさを変えます。

【ズームレバー】

T[TELE] ........................ T側に押すと望遠になります。
W[WIDE] ....................... W側に押すと広角になります。

T（望遠）　W（広角）

3. 【シャッター】を押して撮影します。
• 望遠と広角により、明るさ（絞り）も変わります。
• 望遠で撮影するときは、手ぶれ防止のため三脚とリモコンの使用をおすすめします。





### デジタルズーム撮影

デジタルズームは、画像の中央を2倍または4倍にしてVGAサイズ（640×480pixels）で記録します。

ズーム倍率 .......... 2倍／4倍（光学ズームと併用で最大32倍）

4倍のときは、画像が粗くなります。
デジタルズームの設定方法については、66ページの「撮影メニュー」を参照してください。

**重要!** 光学ズームの倍率によって、オートフォーカスによる撮影可能範囲が以下のように変わります。

| 光学ズーム倍率 | 撮影可能範囲 |
| --- | --- |
| X1 | 0.4m 〜 ∞ |
| ≀ | ≀ |
| X8 | 1m 〜 ∞ |

＊ 上記の距離よりも被写体が近い場合には、被写体にピントが合わない可能性があります。近い被写体を写す場合には、マクロ撮影（52ページ）に切り替えてください。

## マニュアルフォーカス撮影

フォーカス機能をマニュアルにして、レンズのピントを合わせることができます。

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2. 【MF/∞/🌷】を何回か押して[MF]（マニュアルフォーカス撮影）を表示させます。
• 【MF/∞/🌷】を押すごとに、オートフォーカス撮影 → マニュアルフォーカス撮影 → 無限遠撮影 → マクロ撮影の順番で撮影状態が切り替わります。

3. "MF"が点滅している間に【＋】（遠い側）または【－】（近い側）でピントを合わせます。
• "MF"の点滅が約2秒間で終了し、点灯になると【＋】／【－】でEVシフトができます。
• "MF"点灯中に【MF/∞/🌷】を押すと再び"MF"が点滅し、ピント合わせができるようになります。
• "MF"点滅中に【MF/∞/🌷】を押すと無限遠撮影に切り替えることができます。

4. 【シャッター】を押して撮影します。
• マニュアルフォーカス時は、【シャッター】を半押ししても、【動作確認用ランプ】／オートフォーカスフレームは表示されません。





## 無限遠撮影

ガラス越しの風景や遠くの物などの撮影に使用します。∞（無限遠）付近でオートフォーカスします。

ピント距離 .................... ∞（無限遠）付近でオートフォーカス

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2. 【MF/∞/🌷】を何回か押して[∞]（無限遠）を表示させます。
• 【MF/∞/🌷】を押すごとに、オートフォーカス撮影 → マニュアルフォーカス撮影 → 無限遠撮影 → マクロ撮影の順番で撮影状態が切り替わります。

3. 【シャッター】を押して撮影します。

## マクロ撮影

近くのものを撮影するときに、レンズの撮影距離を変更することができます。

撮影可能距離 ................ 1cm 〜 50cm

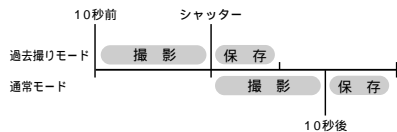
ピント距離はレンズ前面のフィルター枠から被写体までの距離です。
• マクロ撮影のときはズームの倍率がX1〜X1.6に制限されます。

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2. 【MF/∞/🌷】を何回か押して[🌷]（マクロ撮影）を表示させます。
• 【MF/∞/🌷】を押すごとに、オートフォーカス撮影 → マニュアルフォーカス撮影 → 無限遠撮影 → マクロ撮影の順番で撮影状態が切り替わります。

3. 【シャッター】を押して撮影します。

## ムービー撮影

最大10秒までの動画を撮影することができます。ファイル形式はAVI、サイズは、320×240 pixelsで記録されます。
ムービー撮影の種類には【シャッター】を押した前（過去撮りモード）と後（通常モード）の2通りの撮影方法があります。撮影方法、撮影時間の切り替えはメニュー設定画面で変更します。設定方法については、66ページの「撮影メニュー」を参照してください。

**参考**
- 過去撮りモードで撮影すると、シャッターチャンスを逃すことなく撮影することができます。
- AVI形式は、Open DMLグループが提唱したMotion JPEGフォーマットに準拠しています。
- パソコンでAVIファイルを見るときは、付属のCD-ROMに含まれているQuickTime 3をインストールしてください。

### 通常モードで撮影する

*1.* **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【撮影ダイヤル】を[ ]（ムービー撮影）に合わせます。**

*3.* **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**
- オートフォーカスが被写体の動きに応じて、追従を開始します。

*4.* **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**
- 10秒後、自動的に撮影が終わります。
- 10秒以内のムービーを作る場合は【シャッター】を押すことで撮影を終えることができます。





### 過去撮りモードで撮影する（メモリー撮影）

*1.* **「通常モードで撮影する」の手順1〜2の操作をします。**
- 「撮影メニュー」(66ページ)で"ムービーモード"→"過去撮り"を選択してください。

*2.* **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を押します。**
- オートフォーカスが被写体の動きに応じて追従を開始します。
- 10秒間「STAND BY」と表示されます。

*3.* **被写体を追い続け、決定的瞬間が終わったら【シャッター】を押して、撮影します。**
- 【シャッター】を押した時点からさかのぼって10秒間が記録されます。
- 「STAND BY」表示中に【シャッター】を押したときは最初に【シャッター】を押した時点までの時間で撮影されます。

**重要!** ムービー撮影モードでは、フラッシュの発光はしません。

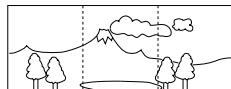
**●ムービー撮影時の記録容量**

| 記録容量 | 約300KB／秒 |
| --- | --- |
| 撮影時間 | 一度に撮影可能なムービーの最長時間10秒 |





## パノラマ撮影

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作ることができます。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【撮影ダイヤル】を[]（パノラマ撮影）に合わせます。**

*3.* **【シャッター】を押して撮影します。**

*4.* **前回撮影した画像が残像になって画面左端に表示されます。**
- 2枚目以降は、前回の残像と今回のフレームが重なるように合わせて撮影してください。
- 最大9枚までを1グループとして撮影し、パノラマ再生することができます。途中で撮影を終了したい場合は【MENU】を押します。
- レンズを液晶画面側に向けているときは、画像の残像は画面右端に表示されます。

**参考**
- パノラマ撮影時の絞りとホワイトバランスは、1枚目を撮影したときの状態でロックされて2枚目以降の撮影をします。
- パノラマ撮影は、10枚目以降も可能です。パソコンのソフトで10枚以上合成する場合に利用できます。

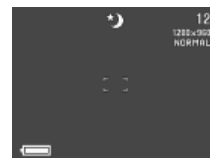




## 夜景撮影

夜景撮影は、暗い場所で撮影するときに使用します。
- 夕暮れや夜景などをバックに人物を撮影する場合などにフラッシュと夜景撮影モードを組み合わせることで、スローシンクロ撮影をすることができます。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

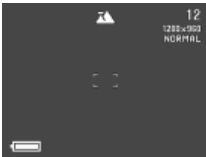
*2.* **【撮影ダイヤル】を[ ]（夜景撮影）に合わせます。**

*3.* **【シャッター】を押して撮影します。**

**重要!**
- 夜景モードではシャッター速度は最長1秒までです。これ以上遅くしたい場合は、シャッター速度の設定（60ページ）を変えてください。
- 夜景撮影では、シャッター速度が遅くなるので、必ず三脚を使用し、カメラを固定してください。
- 暗いところでは、ピントが合いづらいことがあります。そのときは、マニュアルフォーカス（51ページ）をお使いください。また、動きの早い被写体ではぶれる場合があります。
- シャッター速度が遅くなるため、液晶画面の表示速度も遅くなります。
このため、画面に表示される画像と実際に記録される画像が一致しないことがあります。
- 速写での撮影は、4枚までしかできません。
- 画質設定の「コントラスト」の設定を変更しても変化はありません（67ページ）。

## 風景撮影

近景から遠景までを鮮明に撮影するときに使用します。ズームを広角（W）側にして撮影すると近景から遠景までの奥行感や、横の広がりも表現することができます。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【撮影ダイヤル】を［ ］（風景撮影）の位置に合わせます。**

*3.* **【シャッター】を押して撮影します。**

## 白黒／セピア撮影

白黒やセピア色で撮影することができます。
• 撮影後にカラー画像にすることはできません。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【MENU】を押します。**

*3.* **【＋】または【－】で“ 色 ”を選び【シャッター】を押します。**
- 「詳細メニュー」では“ 撮影機能２ ”→“ 色 ”と選びます。

*4.* **【＋】または【－】で“ 白黒 ”または“ セピア ”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **【シャッター】を押して撮影します。**

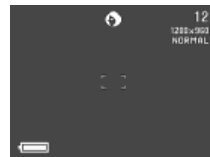




## ポートレート撮影

ポートレートとは一般的には肖像写真のことをいいます。ポートレートモードに切り替えると、背景が適度にぼやけるように絞りが設定されます。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【撮影ダイヤル】を［ ］（ポートレート撮影）の位置に合わせます。**

*3.* **人物にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。**

*4.* **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を全押しします。**

## セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影の種類には、2通りの方法があります。

**10秒後に撮影** ………… 撮影者が写るときに使用します。
**2秒後に撮影** …………【シャッター】を押すときの手ぶれを防ぐことができます。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【 】を押して［ ］（セルフタイマー撮影）を表示させます。**
- 【 】を押すごとに、［１０ＳＥＣ］（１０秒後撮影）→［2SEC］（2秒後撮影）の順番で時間が切り替わります。
  ただし、シャッター速度が“ Bulb ”に設定されているときはセルフタイマー撮影はできません。

*3.* **【シャッター】を押して撮影します。**
- 液晶画面に10秒または２秒前からのカウントダウンが表示され、撮影します。
- カウントダウン表示中に【シャッター】を押すと、セルフタイマー撮影を解除することができます。

**参考** セルフタイマー撮影時は、レンズ部を回転させて、レンズと液晶画面を同じ側にしておくと、セルフタイマーのカウントダウン表示を見ながら撮影されるのを待つことができます。途中で撮影をキャンセルしたくなった場合などにも、あと何秒で撮影されるかがわかり、便利です。

## タイマー撮影

撮影方法には、以下の３つがあります。

• 現時点からの一定間隔の繰り返し撮影（インターバル撮影）
• 設定した時間に1枚撮影（タイマー撮影）
• 設定した時間から一定間隔で撮影（インターバルタイマー撮影）

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【撮影ダイヤル】を［ ］（タイマー撮影）に合わせます。**

*3.* **【＋】または【－】で“ 撮影枚数 ”を設定して【シャッター】を押します。**
- １枚に設定した場合は、手順**5**に進みます。





*4.* **【＋】または【－】で“ 繰返間隔 ”を設定して【シャッター】を押します。**
- 1分〜60分まで1分単位で設定できます。

*5.* **【＋】または【－】で“ 開始時間 ”を設定して【シャッター】を押します。**
- 開始時間の設定は、現在から24時間以内の設定です。

*6.* **【＋】または【－】で「分」を設定して【シャッター】を押します。**

*7.* **被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。**
- 設定時間になると【動作確認用ランプ】が点灯し撮影が開始されます。

**重要!** • タイマー撮影では、シャッター速度を“ Bulb ”に設定して撮影することはできません。“ Bulb ”に設定した場合は、自動的にシャッター速度が“ オート ”で撮影されます。
• シャッター速度を“ 24秒 ”以上に設定したときに、“ 繰返間隔 ”を“ 1分毎 ”にした場合、１分間隔の撮影を保つことはできません。

### タイマー撮影中に電源を入れた場合

タイマー撮影中に電源を入れると、「タイマーがキャンセルされました」と表示され、タイマー撮影はキャンセルされます。

## シャッター速度優先撮影

任意のシャッター速度に固定することができます。固定できるシャッター速度は次の通りです。

オート： 自動的に本機が適切なシャッター速度に切り替えます。
固　定： Bulb（バルブ）、64秒〜1/2000秒

• シャッター速度、絞り（61ページ）をそれぞれ固定することもできます。
• シャッター速度優先撮影をする場合に“ 絞り ”を“ オート ”に設定しておく必要があります。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【MENU】を押します。**

*3.* **【＋】または【－】で“ 撮影機能1 ”を選び【シャッター】を押します。**
- この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。

*4.* **【＋】または【－】で“ シャッター速度 ”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **【＋】または【－】で“ 固定 ”を選び【シャッター】を押します。**

*6.* **【＋】または【－】でシャッター速度を指定して【シャッター】を押します。**

*7.* **【＋】または【－】で“終了”を選び【シャッター】を押します。**

- “Bulb”に設定している場合はシャッターを押し込んでいる間露光し、シャッターを離すと露光を終了します。手ぶれ防止のためにリモコンの使用をおすすめします。
- “Bulb”に設定している場合のシャッター速度は最長64秒です。
- “Bulb”に設定している場合、セルフタイマー撮影はできません。
- CCDの特性上、シャッター速度が遅くなると撮影した画像にノイズが発生します。そのため、シャッター速度が１秒以上遅くなると、自動的にノイズ軽減処理を行なっています。ただし、シャッター速度が遅くなるほど、ノイズは目立って発生します。また、ノイズ軽減処理のために撮影時間がシャッター速度の２倍になります。

## 絞り優先撮影

任意の絞りに固定することができます。絞りを開ける（F3.2）とピントが合う範囲が狭くなり、絞り込む（F8）とピントが合う範囲が広くなります。

*絞りを開ける（F3.2）*

*絞り込む（F8）*

固定できる絞りは次の通りです。

オート：自動的に本機が適切な絞りに切り替えます。
F3.2、F4.8、F8

- 絞り、シャッター速度（60ページ）をそれぞれ固定することもできます。
- 絞り優先撮影をする場合は、“シャッター速度”を“オート”に設定しておく必要があります。
- 被写体が暗すぎたり、明るすぎるときは適正な明るさで撮影できない場合があります。そのときは絞りを適正な値に変更してください。





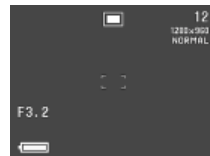
*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【MENU】を押します。**

*3.* **【＋】または【－】で“撮影機能1”を選び【シャッター】を押します。**
- この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。

*4.* **【＋】または【－】で“絞り”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **【＋】または【－】で絞りの値を指定して【シャッター】を押します。**

*6.* **【＋】または【－】で“終了”を選び【シャッター】を押します。**

## マニュアルホワイトバランスの設定

オートホワイトバランスでは、光源によってオートホワイトバランス処理に時間がかかったり、調整できる範囲（色温度）に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。
マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面一杯に写した状態で行なってください。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【MENU】を押します。**

*3.* **【＋】または【－】で“撮影機能１”を選び【シャッター】を押します。**
- この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。

*4.* **【＋】または【－】で“ホワイトバランス”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **【＋】または【－】で“マニュアル”を選び【シャッター】を押します。**





*6.* **【DISP】を押してホワイトバランスのマニュアル設定を開始させます。**
- このとき、画面全体に白い紙などを写しておきます。
- ここで【シャッター】を押すと前回の「マニュアルホワイトバランス」の設定値になります。
- 【DISP】を押すと、ホワイトバランスが設定され、手順5の画面に戻ります。ここで【シャッター】を押すと、設定状態から抜けます。
- なかなか完了しないときは【シャッター】を押すと、その時点の「マニュアルホワイトバランス」設定値になります。

**参考**　「マニュアルホワイトバランス」は白い紙などを用いて設定しますが、カメラ店、写真店などで市販されている標準反射版が最適です。

*7.* **ホワイトバランスの調整が終わったら【シャッター】を押します。**

*8.* **【＋】または【－】で“終了”を選び【シャッター】を押します。**

**参考**　夜景モードにしたときは、ホワイトバランスは“太陽光”に合わせています。必要に応じてホワイトバランスを調整してください。

## 省電力設定

電池の消耗を抑えるために、以下の２通りの設定ができます。

| 項　目 | 内　容 |
|---|---|
| **スリープ（スタンバイ機能）** | 撮影モード時に一定時間操作をしないと、液晶画面をOFFにする<br>• スリープ中にいずれかのボタンを押すと、スリープ解除してすぐに撮影できる（30秒、1分、2分とスリープ機能が働かない“切”から選べる） |
| **オートパワーオフ** | 撮影モード時に一定時間操作をしないと、電源をOFFにする（2分、5分、10分と、オートパワーオフ機能が働かない“切”から選べる） |

- スリープとオートパワーオフの設定が共に２分の場合は、オートパワーオフの方を優先します。すなわち、２分間操作をしないと、電源がOFFになります。

*1.* **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

*2.* **【MENU】を押します。**





*3.* **【＋】または【－】で“撮影設定”を選び【シャッター】を押します。**
- この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。

*4.* **【＋】または【－】で“省電力設定”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **もう１度、【＋】または【－】で“省電力設定”を選び【シャッター】を押します。**

*6.* **【＋】または【－】で設定項目を選択し【シャッター】を押します。**

*7.* **【＋】または【－】で内容を選び【シャッター】を押します。**

*8.* **【＋】または【－】で“終了”を選び【シャッター】を押します。**

## モードメモリー設定（ラストメモリー機能）

モードメモリーとは、電源をOFFにしたときでも直前の状態を記憶しておく機能です。

“入”時 ---------------- 電源をOFFにしたときに、以下の項目で撮影した状態を記憶します。
“切”時 ---------------- 電源をOFFにしたときに、以下の項目の初期値に戻ります。

| モードメモリーの項目 | 入 | 切（初期値） |
|---|---|---|
| モードメモリ１ | | |
| フォーカス方式 | AF/ MF/ ∞ / ✿ | AF |
| フラッシュ | オート/ ⚡ / ⊘ / ◉ | オート |
| デジタルズーム | 切 /オート/２倍/４倍 | オート |
| モードメモリ２ | | |
| 測光方式 | マルチ/中央重点/スポット | マルチ |
| ホワイトバランス | オート/太陽光/日陰/電球/蛍光灯/マニュアル | オート |
| フラッシュ光量 | 強/標準/弱 | 標準 |
| 絞り | オート/F3.2/F4.8/F8 | オート |
| シャッター速度 | オート／固定（Bulb、64秒～1/2000秒） | オート |

*1.* **「省電力設定（63ページ）」の手順1～3の操作をします。**

- この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。

*2.* **【＋】または【－】で“モードメモリ１”または“モードメモリ２”を選び【シャッター】を押します。**

*3.* **【＋】または【－】で“モードメモリ１”または“モードメモリ２”を選び【シャッター】を押します。**

*4.* **【＋】または【－】で設定項目を選択し【シャッター】を押します。**

*5.* **【＋】または【－】で内容を選び【シャッター】を押します。**

*6.* **【＋】または【－】で“終了”を選び【シャッター】を押します。**

## 省電力設定／モードメモリー設定のリセット

省電力、モードメモリー中の、それぞれの項目の設定を初期値に戻すことができます。

*1.* **「省電力設定（63ページ）」の手順1～3の操作をします。**

- この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。

*2.* **【＋】または【－】で“省電力設定”、“モードメモリ1”、“モードメモリ2”のうちリセットしたい項目を選び【シャッター】を押します。**

*3.* **もう１度、【＋】または【－】で“省電力設定”、“モードメモリ1”、“モードメモリ2”のうちリセットしたい項目を選び【シャッター】を押します。**

*4.* **【＋】または【－】で“リセット”を選び【シャッター】を押します。**

*5.* **【＋】または【－】で“はい”を選び【シャッター】を押します。**

すべての項目がリセットされます。

*6.* **【＋】または【－】で“終了”を選び【シャッター】を押します。**





| 設定項目 | 初期値 |
|---|---|
| 省電力設定 | |
| スリープ | 1分 |
| オートパワーオフ | 2分 |
| モードメモリ1 | |
| フォーカス方式 | 切（AF） |
| フラッシュ | 入（オート） |
| デジタルズーム | 入（オート） |
| モードメモリ２ | |
| 測光方式 | 入（マルチ） |
| ホワイトバランス | 切（オート） |
| フラッシュ光量 | 切（標準） |
| 絞り | 切（オート） |
| シャッター速度 | 切（オート） |

## 撮影メニュー

画質モード、ホワイトバランス、ムービー、撮影時間などを設定することができます。好みや撮影状況によって設定を変更してください。メニュー画面には「イージーメニュー」と「詳細メニュー」があり、【DISP】を押すと「イージーメニュー」と「詳細メニュー」が切り替わります。
メニューの操作方法については「メニュー画面」（30ページ）を参照してください。

### 撮影メニュー一覧表

「イージーメニュー」で設定できる項目には イージー が印してあります。

| | | |
|---|---|---|
| 画質設定 | 撮影画質 イージー | 画像の精度が選べます。<br>高精細（FINE）／標準（NORMAL）／エコノミー（ECONOMY） |
| 画質設定 | サイズ イージー | 画像のサイズが選べます。<br>1280×960／640×480 |
| 画質設定 | シャープネス | 被写体の輪郭を補正します。<br>ハード／標準／ソフト<br>ハード：画像がくっきり撮影されます。<br>ソフト：画像がやわらかく撮影されます。 |





| | | |
|---|---|---|
| 画質設定 | 彩度 | 色の鮮やかさが変わります。<br>高／標準／低<br>高：画像が濃く撮影されます。<br>低：画像が淡く撮影されます。 |
| 画質設定 | コントラスト | 明暗の差が変わります。夜景撮影では効果はありません。<br>高／標準／低<br>高：明暗の差が大きくなります。<br>低：明暗の差が小さくなります。 |
| 撮影機能1 | 絞り | 絞りが固定できます。<br>オート／F3.2／F4.8／F8 |
| 撮影機能1 | シャッター速度 | シャッター速度が固定できます。<br>オート／固定（Bulb、64秒～1/2000秒） |
| 撮影機能1 | シャッターモード | シャッターの切りかたが選べます。<br>１枚撮影／速写撮影／連続撮影<br>１枚撮影：約３秒間隔で１枚ずつ撮影することができます。<br>速写撮影：約１秒間隔で撮影することができます。<br>連続撮影：シャッターを押し続けている間、約0.25秒間隔で撮影することができます。<br>• 各設定とも、シャッター速度が遅くなるときには撮影間隔が遅くなることがあります。 |
| 撮影機能1 | 測光方式 | 測光方式が選べます。<br>マルチ／中央重点／スポット<br>マルチ：画面の全体を分割して測光します。バランスの取れた露出が得られます。<br>中央重点：中央部分を重点的に測光します。<br>スポット：画面中央のごく狭い部分を測光します。周囲の影響を受けず、写したい被写体に露出を合わせることができます。 |
| 撮影機能1 | ホワイトバランス | ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白色系の部分を基準に調整することです。<br>オート／太陽光／日陰／電球／蛍光灯／マニュアル<br>太陽光：屋外での撮影時<br>日　陰：日陰で青みがかる時<br>電　球：電球下で赤みがかる時<br>蛍光灯：蛍光灯下で緑がかる時<br>ﾏﾆｭｱﾙ：現在の光源の元で、白紙を撮影して設定します。（62ページ） |





| | | |
|---|---|---|
| 撮影機能2 | フラッシュ光量 | フラッシュの光量を調節します。<br>強／標準／弱 |
| 撮影機能2 | ムービーモード イージー | ムービーの撮りかたが選べます。<br>通常／過去撮り |
| 撮影機能2 | デジタルズーム イージー | デジタルズームが固定できます。<br>切／オート／2倍／4倍 |
| 撮影機能2 | 色 イージー | 撮影時の色が選べます。<br>カラー／白黒／セピア |
| 撮影機能2 | グリッド表示 | 液晶画面に方眼を表示します。<br>撮影時に水平や垂直を保つのに便利です。<br>入／切 |
| 撮影機能2 | タイムスタンプ イージー | 画像へ日時を写し込みます。<br>切／年月日／日時分／年月日時分<br>写し込まれた日時は削除することができません。 |

| | | |
|---|---|---|
| 撮影設定 | 省電力設定 | 電池の消耗を押さえるためにスリープとオートパワーオフの時間が設定できます。<br>スリープ（切／30秒／1分／2分）／オートパワーオフ（切／2分／5分／10分） |
| 撮影設定 | モードメモリ1 | 電源を切っても設定を残しておきたい項目が選べます。<br>フォーカス方式／フラッシュ／デジタルズーム |
| 撮影設定 | モードメモリ2 | 電源を切っても設定を残しておきたい項目が選べます。<br>測光方式／ホワイトバランス／フラッシュ光量／絞り／シャッター速度 |
| 設定 | カードブラウザ イージー | カードブラウザファイルの種類が選べます。<br>切／タイプ1／タイプ2／タイプ3／タイプ4 |
| 設定 | フォーマット イージー | メモリーカードのフォーマット（初期化）ができます。 |
| 設定 | 日付 イージー | 日付のセットと日付の表示方法が選べます。<br>表示スタイル（年月日／日月年／月日年）／時刻設定 |

| | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| 設定 | ビデオ出力<br>イージー | ビデオ出力の方式が選べます。<br>NTSC／PAL<br>NTSC：日本やアメリカなどで使用している方式です。<br>PAL ：ヨーロッパなどで使用している方式です。 |
| | Language/<br>言語<br>イージー | 画面のメッセージを日本語と英語から選べます。<br>English／日本語 |
| | 操作音<br>イージー | ボタンを押したときの音のオン／オフができます。<br>切／入 |

参考
- フォーカス方式／フラッシュ／デジタルズーム／測光方式／ホワイトバランス／フラッシュ光量／絞り／シャッター速度については、モードメモリ（1、2）の設定が“入”のときのみ電源をOFFにしても設定内容は変わりません。また、それ以外の項目については、電源をOFFにしても設定内容は変わりません。
- “シャッター速度”と“絞り”の両方を同時に“オート”以外の設定にした場合、EVシフト（46ページ）、フラッシュの自動発光（43ページ）はできません。

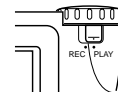


# 再生する

ここでは、撮影した内容のいろいろな見かたを説明します。

## 基本的な再生

本機は液晶画面を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。記録されている内容は、メモ帳のページをめくる要領で、順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

**1.【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

**2.【＋】または【−】を押します。**

- 【＋】を押すと後ろの画像が表示され【−】を押すと前の画像が表示されます。
- 【＋】または【−】を押し続けると画像が早く送られます。

参考
- 撮影を行なった直後に【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置にした場合は、今撮影した内容が表示されます。
- 初めに表示される画像は、簡易画像のため粗い表示になっていますが、約2秒後に精細な画像として表示されます。ただし、他のデジタルカメラやパソコンからコピーした画像はこの限りではありません。





## ムービー再生機能

ムービーモードで撮影した画像を再生することができます。

**1.【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

**2.【＋】または【−】でムービー撮影した画像を表示させます。**

**3.【シャッター】を押すとムービー再生を始めます。**

- ムービー再生中に【＋】または【−】を押すと再生方向を切り替えることができます。
- ムービー再生中に【シャッター】を押すと一時停止します。この状態で【＋】または【−】を押すと、「コマ送り」「コマ戻し」ができます。
- ムービー再生／一時停止中に【DISP】を押すと、全画面 → 1/4画面表示の順で切り替わります。

**4. ムービー再生を終了するには【MENU】を押します。**

## パノラマ再生機能

パノラマモードで撮影した画像をスクロール再生することができます。

**1.【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

**2.【＋】または【−】でパノラマ撮影した画像を表示させます。**

**3.【シャッター】を押すとパノラマ再生を始めます。**

- パノラマ再生中に【＋】または【−】を押すとスクロール方向を切り換えることができます。
- パノラマ再生中に【シャッター】を押すと一時停止します。この状態で【＋】または【−】を押すと「コマ送り」「コマ戻し」ができます。
- パノラマ再生／一時停止中に【DISP】を押すと、ワイド画面 → 全画面表示の順で切り替わります。

**4. パノラマ再生を終了するには【MENU】を押します。**





## 画像を拡大して表示する

撮影した画像を、部分的に2倍に拡大して表示させることができます。1画面表示の状態から、以下の操作を行なってください。

重要！ ムービー撮影／パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。

**1.【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

**2.【＋】または【−】で拡大表示したい画像を表示させます。**

**3.【MENU】を押します。**

**4.【＋】または【−】で“拡大”を選び【シャッター】を押します。**

- 「詳細メニュー」では“表示”→“拡大”と選びます。

**5.【＋】／【−】／【MF/∞/✿】／【ϟ】を使って拡大表示する場所を移動することができます。**

- 【DISP】を押すことで操作ガイドの表示／非表示の切り替えができます。

**6. 拡大表示を終了するには【＋】／【−】／【MF/∞/✿】／【ϟ】／【DISP】以外のボタンを押します。**

## 1つの画面に複数画像を表示する

撮影した内容を、9枚同時に一覧表示させることができます。大画面テレビに表示してカタログ的に楽しんだり、プレゼンテーションなどで威力を発揮します。

**1.【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

**2.【MENU】を押します。**

**3.【＋】または【−】で“9画面”を選び【シャッター】を押します。**

- 「詳細メニュー」では“表示”→“9画面”と選びます。
- 最初に表示していた画面を先頭として9画面が表示されます。

4. 【+】または【–】を押すごとに別の画像を表示できます。

| 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |

【+】→ ←【–】

| 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|
| 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 |

【+】→ ←【–】

| 19 | 20 | 21 |
|---|---|---|
| 22 | 23 | 24 |
| 25 | | |

5. 複数画面表示を終了するには【+】／【–】／【DISP】以外のボタンを押します。

**参考** 複数画面表示中の画面の明るさは、最も明るい画面に合わせられます。

## １画像を選んで表示する

複数画面表示を使うと、すばやく目当ての画面を探して１画面表示させることもできます。

1. 複数画面表示に切り替えます。

2. 【DISP】を押します。
   - 左上の画像“ ”が表示されます。

3. 【+】または【–】で“ ”を目当ての画像に移動させ【シャッター】を押します。
   - 目当ての画像が１画面表示されます。

## スライドショー機能

撮影した内容を、自動的に次々とページめくりしていく機能です。ページめくりの間隔を設定することもできます。

 →  → 

**重要!** スライドショー中は、本機のオートパワーオフ機能（本機の操作を行なわないと、一定時間後に自動的に電源が切れる機能、36ページを参照）が働きません。このため、電池で本機を使用しているときにスライドショーをしたまま忘れて放置してしまうと、確実に電池が消耗します。スライドショーで撮影した内容を見た後は、必ずスライドショーを終了して、電源を切るようにしてください。

### スライドショーを開始する

1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【+】または【–】で“ スライドショー ”を選び【シャッター】を押します。
   - 「詳細メニュー」では“ 表示 ”→“ スライドショー ”と選びます。
   - スライドショーが始まります。

4. スライドショーを終了するには【MENU】以外のボタンを押します。
   - 画面のスクロール中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。

### スライドショーの設定

ページめくりの間隔（3～３０秒）の設定を行なうことができます。

1. 「スライドショーを開始する」（74ページ参照）の手順に従って、まずスライドショーを開始します。

2. 【MENU】を押します。
   - 画面の静止中に押してください。

3. 【+】または【–】でページめくりの間隔（3～30秒）を選び【シャッター】を押します。
   - 指定したページめくりの間隔でスライドショーを開始します。
   - パソコンからコピーした画像や、他のカメラの画像では、設定した間隔より長くなる場合があります。





## スクリーンセーバー機能

本機を操作しないで５分間放置しておくと、自動的にページめくり（スライドショー機能）を開始する機能です。
液晶画面や、テレビ、モニターなどの焼き付け防止に役立ちます。

**重要!**
- 撮影モード時は、機能しません。
- ACアダプターを使用していないと、機能しません。
- 表示されている内容はすべてのフォルダ内のメモリープロテクト（79ページ）されている画像だけです。
- メモリープロテクトされた画像がないときや“ 画像がありません ”と表示されている状態では実行できません。
- 工場出荷時に、スクリーンセーバー機能は“ 入 ”になっていますので、フォトローダで通信するときは“ 切 ”にしてください。

1. 別売品の専用ACアダプター（AD-C620J）を接続します。

2. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。

3. 【MENU】を押します。

4. 【+】または【–】で“ ツール ”を選び【シャッター】を押します。
   - この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。

5. 【+】または【–】で“ スクリーンセーバー ”を選び【シャッター】を押します。

6. 【+】または【–】で“ 入 ”を選び【シャッター】を押します。
   - スクリーンセーバーの機能が設定されます。
   - ５分間無操作状態が続くと、スクリーンセーバーを開始します。ページめくりの間隔はスライドショーと同じです。
   - スクリーンセーバーの機能を解除する場合は“ 切 ”を選びます。

7. スクリーンセーバーを終了するには何かボタンを押します。
   - 画面のスクロール中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。





## 再生メニュー

再生時の画像の表示方法や画像の消去／保護／DPOF設定などの画像に関わる設定ができます。また、カメラの基本的な状態の設定もできます。メニュー画面には「イージーメニュー」と「詳細メニュー」があり、【DISP】を押すと「イージーメニュー」と「詳細メニュー」が切り替わります。
メニューの操作方法については、「メニュー画面」（30ページ）を参照してください。

### 再生メニュー一覧表

「イージーメニュー」で設定できる項目には イージー を印してあります。

| | | |
|---|---|---|
| 表示 | 拡大 イージー | 画像を拡大します。 |
| | 9画面 イージー | 画像を9枚同時に表示します。 |
| | スライドショー イージー | 画像を自動的に次々と表示していきます。 |
| ツール | プロテクト | 画像を消さないように保護します。<br>選択画像／フォルダ画像／全画像<br>選択画像　：1画像単位で保護します。<br>フォルダ画像　：1フォルダ単位で保護します。<br>全画像　：全画像を保護します。 |
| | DPOF イージー | DPOF対応プリンターで印刷する画像と枚数を指定します。<br>選択画像／フォルダ画像／全画像<br>選択画像　：1画像単位で指定します。<br>フォルダ画像　：1フォルダ単位で指定し、枚数を決めます。<br>全画像　：全画像を指定し、枚数を決めます。 |
| | スクリーンセーバー | スクリーンセーバーの入／切を選びます。<br>入／切 |
| 設定 | カードブラウザ イージー | カードブラウザファイルの種類が選べます。<br>切／タイプ1／タイプ2／タイプ3／タイプ4 |
| | フォーマット イージー | メモリーカードのフォーマット（初期化）ができます。 |
| | 日付 イージー | 日付のセットと日付の表示方法が選べます。<br>表示スタイル（年月日／日月年／月日年）／時刻設定 |

| | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| 設定 | ビデオ出力<br>イージー | ビデオ出力の方式が選べます。<br>NTSC／PAL<br>NTSC：日本やアメリカなどで使用している方式です。<br>PAL：ヨーロッパなどで使用している方式です。 |
| | Language/言語<br>イージー | 画面のメッセージを日本語と英語から選べます。<br>English／日本語 |
| | 操作音<br>イージー | ボタンを押したときの音の入／切ができます。<br>入／切 |
| 消去 | 選択画像<br>イージー | 1画像単位で消去します。 |
| | フォルダ画像<br>イージー | 1フォルダ単位で消去します。 |
| | 全画像<br>イージー | 全画像を消去します。 |



# フォルダ分類について

本機はメモリーカード内に、フォルダ（ディレクトリ）を自動的に作成します。撮影した画像は月日を名前としたフォルダの中に自動的に記録します。最大900個のフォルダを作ることができます。フォルダ名は次の通りです。

連番（3桁）＋ アンダーバー（_）＋ 月（2桁）＋ 日（2桁）
例：100（連番）、7月19日撮影
　　100_0719

各フォルダには最大250個の画像ファイルが登録でき、251枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。メモリーカードにはさまざまな制御用のファイルが記憶されていますが、画像ファイルは次の通りです。

月（2桁）＋ 日（2桁）＋ 連番（4桁）＋ 拡張子（.JPG/.AVI）
例：11月7日26番目に撮影の画像
　　11070026.JPG

- メモリーカード内に保存できるフォルダ数、ファイル数はメモリーカードの容量や画質によって異なります。
- パノラマファイルは通常の画像ファイルに分割して保存されています。
- メモリーカード内の詳しいディレクトリ構造に関しましては「パソコンでメモリーカードをご利用になるには」（93ページ）を御覧ください。
- 他のカメラで撮影したり、パソコンから画像をコピーして1フォルダ中に251枚以上画像ファイルが存在する場合は、250枚目までしか再生されません。ただし、画像を消去した場合は251枚目以降の画像が繰り上がって表示されます。

## 再生したいフォルダを選択する

1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。
2. 【📁】を押します。
3. 【＋】または【－】で再生したいフォルダを選びます。

4. 【シャッター】を押します。
   - 選択したフォルダの最初の画像が表示されます。



# メモリープロテクト機能について

必要な画像を誤って消去してしまわないために、本機には「メモリープロテクト」（誤消去防止）機能が付いています。メモリープロテクトされた画像は、消去機能（81ページ）で消されることはありません。メモリープロテクトのかけ方には、「1画像単位」「フォルダ単位」「全画像」の3つの方法があります。

**重要!** 画像データにメモリープロテクトをかけていても、「メモリーカードのフォーマット（初期化）（32ページ）」を行なうと、すべてのデータが消去されます。

## 1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。
3. 【＋】または【－】で"ツール"を選び【シャッター】を押します。
   - この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。
4. 【＋】または【－】で"プロテクト"を選び【シャッター】を押します。
5. 【＋】または【－】で"選択画像"を選び【シャッター】を押します。
6. 【＋】または【－】でメモリープロテクトをかけたり解除する画像を表示させます。
7. 【シャッター】を押して、メモリープロテクトをかけたり解除します。

- プロテクトをかけた画像の上には"🔑"が付きます。
- 複数枚行なう場合は、手順6～7を繰り返します。

8. 【DISP】を押します。
   - プロテクト設定時 ...... 指定した画像の左上に"🔑"が表示されます（画面情報表示（29ページ）設定時）。
   - プロテクト解除時 ...... 指定した画像の左上の"🔑"が消えます（画面情報表示（29ページ）設定時）。





## フォルダ単位でメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【📁】を押します。
2. 【＋】または【－】でプロテクトをかけたいフォルダを選び【シャッター】を押します。
3. 「1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する」の手順2～4の操作をします。
   - この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。
4. 【＋】または【－】で"フォルダ画像"を選び【シャッター】を押します。
5. 【＋】または【－】で"オン"（プロテクト設定時）または"オフ"（プロテクト解除時）を選び【シャッター】を押します。
   - プロテクト設定時 ...... フォルダのすべての画像の左上に"🔑"が表示されます（画面情報表示）。
   - プロテクト解除時 ...... フォルダのすべての画像の左上の"🔑"が消えます（画面情報表示）。

## 全画像にメモリープロテクトをかける／解除する

1. 「1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する」の手順2～4の操作をします。
   - この項目は「詳細メニュー」使用時のみ設定できます。
2. 【＋】または【－】で"全画像"を選び【シャッター】を押します。
3. 【＋】または【－】で"オン"（プロテクト設定時）または"オフ"（プロテクト解除時）を選び【シャッター】を押します。
   - プロテクト設定時 ...... すべての画像の左上に"🔑"が表示されます（画面情報表示）。
   - プロテクト解除時 ...... すべての画像の左上の"🔑"が消えます（画面情報表示）。

# 画像を消去する

画像を消去する方法には、「１画像単位」「フォルダ単位」「全画像」の３つの方法があります。

**重要!**
- 一度消去してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行なう際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行なってください。特に、全画像消去の操作では、撮影したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- すべての画像がメモリープロテクトされている状態では、実行できません。
- メモリープロテクトのかかった画像は消去できません。79ページを参照してメモリープロテクトの解除を行なってから操作をしてください。

## 1画像単位で消去する

１画像ずつ確認しながら消去する方法です。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【+】または【−】で“消去”を選び【シャッター】を押します。**
4. **【+】または【−】で“選択画像”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【+】または【−】で消去したい画像を表示させます。**
   - メモリープロテクトされている画像は表示されません。
6. **【シャッター】を押します。**

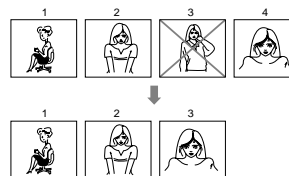
- 選択した画像には“🗑”が付きます。
- 最初に表示されている画像には初めから“🗑”が付いています。
- 複数枚消去する場合は、手順5〜6を繰り返します。

7. **【DISP】を押します。**





8. **【+】または【−】で“はい”を選び【シャッター】を押します。**
   - パノラマ撮影した画像は、グループ単位で消去されます。

**参考** １画像消去を行なうごとに、ページの空きができないように自動的に「ページ詰め」が行なわれます。

## フォルダ単位で画像を消去する

フォルダごとに画像を消去する方法です。

1. **【📁】を押します。**
2. **【+】または【−】で消去したいフォルダを選び【シャッター】を押します。**
3. **【MENU】を押します。**
4. **【+】または【−】で“消去”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【+】または【−】で“フォルダ画像”を選び【シャッター】を押します。**
6. **【+】または【−】で“はい”を選び【シャッター】を押します。**
   - 現在のフォルダ内の画像がすべて消去され、次のフォルダの画像が表示されます。
   - メモリープロテクトをかけている画像がある場合は、メモリープロテクトをかけている画像が表示されます。





## 全画像を消去する

画像のすべてを一度に消去する方法です。

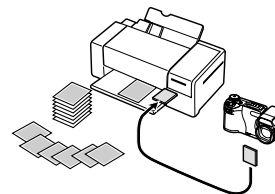
1. **「1画像単位で消去する」の手順１〜３の操作をします。**
2. **【+】または【−】で“全画像”を選び【シャッター】を押します。**

**重要!** 次の操作を行なうと、画像のすべてが消去されます。すべて消去してよいかどうか確認がお済みでない場合は、ここで【MENU】を押して一度元の画面に戻り、再度撮影内容をご確認の上、はじめから操作を行なうことをおすすめします。

3. **【+】または【−】で“はい”を選び【シャッター】を押します。**
   - すべての画像が消去され、画面に“画像がありません”と表示されます。
   - メモリープロテクトをかけている画像がある場合は、メモリープロテクトをかけている画像が表示されます。



# DPOF機能について

撮影された画像のファイル名などを意識することなく、デジタルカメラの液晶画面でプリントしたい画像を設定することができます。コンパクトフラッシュカードを通してDPOF（Digital Print Order Format）対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントします。また、プリントしたい枚数も設定することもできます。DPOFとはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。

DPOF™

## 1画像単位で印刷の設定をする

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**
3. **【+】または【−】で“DPOF”を選び【シャッター】を押します。**
   - 「詳細メニュー」では“ツール”→“DPOF”と選びます。
4. **【+】または【−】で“選択画像”を選び【シャッター】を押します。**
5. **【+】または【−】で印刷する画像を表示させます。**

*6.* 【シャッター】を押して印刷する画像を決定します。

- 選択した画像には“ 🖶 ”が付きます。

*7.* 【+】または【−】で印刷枚数を決め、【シャッター】で決定します。
- 他の画像についても設定を行なう場合は、手順**5**〜7を繰り返してください。
- 印刷の設定を解除する場合は【−】を数回押しで“ 🖶 ”を消します。

*8.* 【DISP】を押して設定を終了します。

## フォルダ単位で印刷の設定をする

*1.* 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】(再生)の位置に合わせます。

*2.* 【📁】を押します。

*3.* 【+】または【−】で設定したいフォルダを選び【シャッター】を押します。

*4.* 【MENU】を押します。

*5.* 【+】または【−】で“ DPOF ”を選び【シャッター】を押します。
- 「詳細メニュー」では“ ツール ”→“ DPOF ”と選びます。

*6.* 【+】または【−】で“ フォルダ画像 ”を選び【シャッター】を押します。

*7.* 【+】または【−】で印刷を“ 設定する ”か“ 解除する ”を選びます。

*8.* 【シャッター】を押します。
- 印刷を解除した場合はここで再生表示に戻ります。





*9.* 【+】または【−】で印刷枚数を決めます。

*10.* 【シャッター】を押して設定を終了します。

## 全画像に印刷の設定をする

*1.* 「1画像単位で印刷の設定をする」の手順1〜3の操作をします。

*2.* 【+】または【−】で“ 全画像 ”を選び【シャッター】を押します。

*3.* 【+】または【−】で印刷を“ 設定する ”か“ 解除する ”を選びます。

*4.* 【シャッター】を押します。
- 印刷を解除した場合はここで再生表示に戻ります。

*5.* 【+】または【−】で印刷枚数を決めます。

*6.* 【シャッター】を押して設定を終了します。



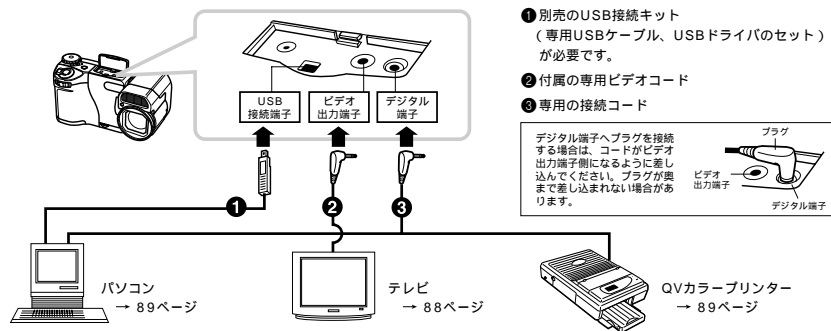
# 接続に使う端子について

本機は、接続用の端子として「ビデオ出力端子」と「デジタル端子」、「USB接続端子」の３つを備えており、テレビやビデオ、パソコンなどさまざまな機器と接続して使うことができます。

❶別売のUSB接続キット
（専用USBケーブル、USBドライバのセット）
が必要です。

❷付属の専用ビデオコード

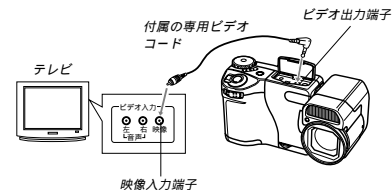
❸専用の接続コード

デジタル端子へプラグを接続する場合は、コードがビデオ出力端子側になるように差し込んでください。プラグが奥まで差し込まれない場合があります。

**重要!**
- 接続は、本機と外部機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続する外部機器側の取扱説明書を参照してください。
- テレビやパソコンのCRTに同一画像を表示して長時間放置しておきますと、残像現象（画ヤケ）をおこす場合がありますので、同一画像のまま長時間放置することはおやめください。
- 本機では、カシオのデジタルカメラ間でケーブルを通じて画像を送ることはできません。



# 接続のしかたと操作

## テレビとの接続

本機で撮影した内容や撮影中の表示を、テレビ画面に映して見ることができます。テレビ画面に映すには、付属の専用ビデオコードを使って本機とテレビを接続します。

*1.* 付属の専用ビデオコードを使って、本機とテレビを接続します。

*2.* 接続したら、テレビ側のチャンネルを「ビデオ入力」にセットします。

*3.* 接続後の操作手順は、撮影や再生の手順と同じです。

**重要!**
- テレビを本機と接続するには、テレビ側が上記のイラストのような「映像入力端子」を備えている必要があります。
- バッテリー残量表示（35ページ）などの表示は、そのままテレビ画面に表示されますのでご注意ください。
- ビデオコードが本機に接続されると、液晶画面は消灯します。

### ビデオ出力の方式を変更する場合

本機は、ビデオ出力の方式に合わせて、設定を変更することができます。ビデオ出力の方式には、以下の２種類があります。

NTSC：日本やアメリカなどで使用している方式です。
PAL：ヨーロッパなどで使用している方式です。

*1.* 【MENU】を押します。

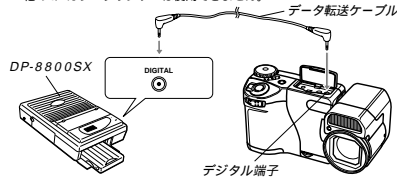
*2.* 【+】または【−】で“ 設定 ”を選び【シャッター】を押します。

*3.* 【+】または【−】で“ ビデオ出力 ”を選び【シャッター】を押します。

*4.* 【+】または【−】でビデオ出力の方式を選び【シャッター】を押します。

## QVカラープリンターとの接続

QVカラープリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。

接続できる機種：DP-8800SX
※ 他のQVカラープリンターは使用できません。

1. **QVカラープリンターに付属の通信ケーブルを使って本機とQVカラープリンターを接続します。**
2. **接続したら【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせ電源を入れます。**
   - QVカラープリンターでプリントする操作については、QVカラープリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

**重要!**
- QVカラープリンターと接続したときは、パノラマ撮影した画像は1枚ずつの画像のままで、合成された画像としてプリントできません。
- ムービー画像は、印刷できません。

## パソコンとの接続

本機とパソコンを接続するために次の別売品が用意されています。

- USB接続キット
- パソコンリンクケーブル

これらの別売品と本機付属のCD-ROMに収録の専用ソフト（Photo Loader）を使用して、撮影内容をデジタルデータの状態でパソコンに転送することができます。

### USB接続端子での接続

USB接続端子を通じてUSBインターフェースを備えたパソコンと簡単に接続することができます。接続には別売のUSB接続キット（専用USBケーブル／USBドライバ）が必要です。初めにドライバをインストールすれば、USBケーブルでパソコンと本機を接続するだけでパソコン上で外部記憶装置として認識することができます。USBドライバのインストール方法については、USB接続キットの取扱説明書を参照してください。

別売品：USB接続キット QC-1U

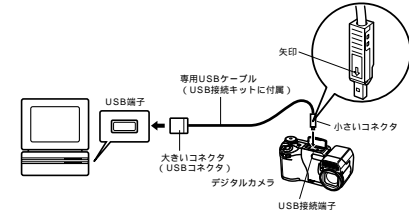




### 動作環境

| Windowsの場合 | Macintoshの場合 |
|---|---|
| • Windows 98プレインストールパソコンIBM PC/AT互換機またはNEC PC-98NXシリーズ<br>• 486以上のCPU Pentiumを推奨<br>• USB端子<br>• CD-ROMドライブ（インストール用）<br>• キーボードおよびマウス<br>※ 以下の条件では動作の保証はいたしません。<br>• Windows 95からWindows 98にバージョンアップしたパソコン<br>• Windows 95のすべてのバージョン<br>※ Windows 3.1、Windows 95、Windows NTでは動作いたしません。 | • Mac OS 8.5以上、またはMac OS 8.1にiMacアップデート1.0が必要<br>• Power PC G3<br>• USB端子<br>• CD-ROMドライブ（インストール用）<br>• キーボードおよびマウス |

※機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

### 接続のしかた

- コネクタの向きに注意して接続してください。デジタルカメラ側に接続するコネクタには矢印があります。矢印をデジタルカメラの前面部側に向けて接続してください。また、コネクタは奥まで確実に差し込んでください。
- ケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。
- USBケーブルからは本機に電源は供給されません、必ず別売の専用ACアダプターを使用してください。
- USBケーブルは本機専用品です。他の市販USBケーブルは使用できません。
- 通信中にケーブルを抜かないでください。データが破壊される恐れがあります。

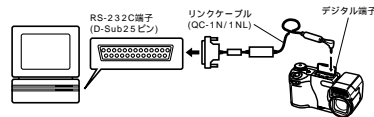


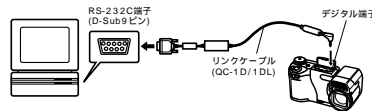


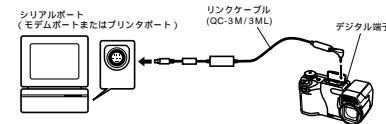
## パソコンリンクケーブルでの接続

本機のデジタル端子を通して、パソコンリンクケーブル（別売）と付属のCD-ROMに収録の専用ソフト（Photo Loader）を使用して撮影内容をパソコンに保存することができます。ここでは、パソコンリンクケーブルの接続方法を説明します。専用ソフトのインストール方法については、別紙の「専用ソフト取扱説明書（インストール編）」を参照ください。

■Windows 95/98/NT Workstation 4.0

**パソコンリンクケーブル（QC-1N/1NL＜別売＞）使用時**
**RS-232C端子（D-Sub25ピン）を持ったパソコンとの接続**
NEC PC-9801/9821シリーズなどの機種で、D-Sub25ピンのRS-232C端子を備えたパソコンとの接続はこの方法になります。リンクケーブルをパソコンのD-Sub25ピンRS-232C端子と接続します。
＊ PC98-NXシリーズには、IBM PC/AT互換機用（QC-1D/1DL）をご使用ください。

- パソコン側のRS-232C端子がハーフピッチ14ピン（ノートパソコンに多いタイプです）の場合は、市販のRS-232Cケーブル（ストレート結線タイプ・ハーフピッチ14ピンオス⇔D-Sub25ピンメス）が別途必要です。

**パソコンリンクケーブル（QC-1D/1DL＜別売＞）使用時**
**RS-232C端子（D-Sub9ピン）を持ったパソコンとの接続**
IBM PC/AT互換機などの機種、NEC PC-9801/9821シリーズの一部の機種で、D-Sub9ピンのRS-232C端子を備えたパソコンとの接続はこの方法になります。リンクケーブルをパソコンのD-Sub9ピンRS-232C端子と接続します。

■Macintoshの場合

**パソコンリンクケーブル（QC-3M/3ML＜別売＞）使用時**
- MacintoshのうちPowerMacまたはPowerBookのG3シリーズ、およびPowerBook 2400／3400シリーズではQC-2Mをご使用になれませんので、必ずQC-3Mをご使用ください。なお、iMacにはシリアル端子が無いためどちらもご使用になれません。

**重要!**
- デジタルカメラとパソコンの接続を行なう場合は、必ずデジタルカメラ、接続するパソコン、およびパソコンにつながっているすべての周辺機器（モニターやハードディスクなど）の電源を切った状態で行なってください。
- 通信中に、ケーブルの抜き差しを行なわないでください。ソフトが正常に動作しなくなるばかりでなく、データが破壊されたり、デジタルカメラ本体やパソコン本体の故障の原因になることがあります。
- パソコンとの通信を行なう際、残り少ない電池でカメラを使用していますと、画像データの通信中に電源がおちる可能性があります。パソコンとの通信にはできるだけ専用ACアダプタ（別売品）をお使いください。
- 別売のパソコンリンクソフト（LK-1／LK-10NC／LK-10DV／LS-1W／LS-7W／LS-8M／LS-10W／LK-2／LK-2A／LS-2M／LS-8M／LS-11M）では動作しませんのでご使用にならないでください。
- 専用ソフト（Photo Loader）の動作環境については、ソフトの取扱説明書を参照してください。

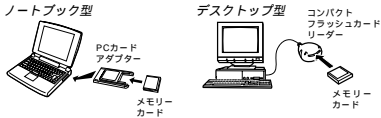
# パソコンでメモリーカードをご利用になるには

## メモリーカードの接続

パソコンとの画像のやりとりをメモリーカードから直接行なうことができます。また、付属の専用ソフト（Photo Loader）を使用して、撮影内容をパソコンに自動的に保存することもできます。パソコンの機種によって接続方法は異なります。代表的な接続例は以下の通りです。

- コンパクトフラッシュカードスロットのある機種
  コンパクトフラッシュカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
  別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。
  詳しくはPCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照してください。
- 一般の機種（デスクトップ型）
  1）別売のコンパクトフラッシュカードリーダー<CF-1RW>を使用します。
  ※ コンパクトフラッシュカードリーダーは、Windows 95/98対応パラレルポート接続タイプです。
  2）市販のPCカード用リーダー／ライターと、別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。
  詳しくはコンパクトフラッシュカードリーダー<CF-1RW>、PCカードアダプター<CA-10>、パソコンに付属の取扱説明書を参照してください。

ノートブック型

デスクトップ型

## メモリーカード内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF（Design rule for Camera File system）規格に準拠した方法でメモリーカードへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡便に交換することを目的とした規格です。

### DCF規格について

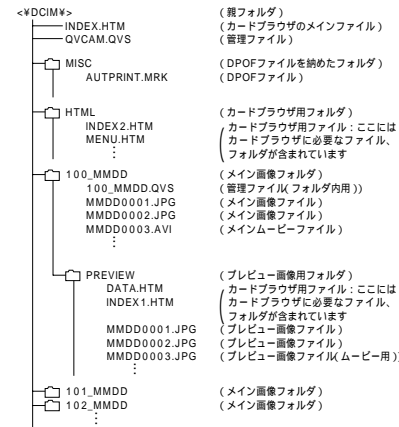
DCF規格対応の機器（デジタルカメラやプリンタなど）の間で画像の互換が可能です。画像ファイルのデータ形式やメモリーカード内のディレクトリ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンタで印刷したりすることが可能です。逆にDCF規格対応の他社デジタルカメラの画像も本機で見ることができます。
カシオのデジタルカメラではこのDCF規格に対応したうえ、画像ファイルの管理に役立てるために画像フォルダ名と画像ファイル名に日付を使用しています。

### メモリーカード内のディレクトリ構造

メモリーカード内のディレクトリ構造は「カードブラウザ機能」（96ページ）の設定によって異なります。





**■ディレクトリ構造**

**■フォルダ／ファイルの内容**

- 親フォルダ
  デジタルカメラで扱うファイル全てを収めたフォルダです。
- カードブラウザメインファイル
  カードブラウザ機能で使用する表紙のファイル。このファイルをWebブラウザソフトで開くと画像の一覧表が表示されます。
- 管理ファイル
  フォルダの管理や画像の順番などの情報が記載されているファイルです。
- DPOFファイルを納めたフォルダ
  DPOFファイルなどを納めたフォルダです。
- DPOFファイル
  プリント情報が書かれたファイルです。
- カードブラウザ用フォルダ
  カードブラウザ機能で使用するファイルを収めたフォルダです。
- カードブラウザ用ファイル
  カードブラウザ機能で使用するファイルです。
- メイン画像フォルダ
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルを収めたフォルダです。





- メイン画像ファイル
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。
- メインムービーファイル
  デジタルカメラで撮影したムービーファイルです。
- プレビュー画像用フォルダ
  プレビュー画像ファイルを収めたフォルダです。
- プレビュー画像ファイル
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルやムービーファイルと同時に記録されるサイズの小さな画像ファイルです。カメラ内での一時的な再生画面や、カードブラウザ機能の一覧表示に使用されます。

### このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- QV-8000SXで撮影した画像ファイル
- Photo Loaderで保存したJPEGファイル（1280x960pixelsもしくは640x480pixelsのJPEGファイル）
- QV-Linkで保存したJPEGファイル（1280×960pixelsもしくは640×480pixelsのJPEGファイル）
- DCF規格に対応している画像ファイル

### パソコン上でメモリーカードを扱うときの注意点

- 本機では、管理ファイルにて画像ファイルなどの順番、属性を管理しています。従って、パソコン上でメモリーカード内のファイルを更新したり削除すると、管理ファイルの内容と画像ファイルの順番、属性とのつじつまが合わなくなり、メモリーカードをデジタルカメラに戻したときに、画像の順番が入れ替わったり、パノラマ画像のグループが解除されたり、ページの送り／戻しが遅くなったりすることがあります。
- メモリーカードの内容をパソコンのハードディスクやフロッピーディスク、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存し、その後パソコン上では管理ファイル（～.QVS）を更新したり削除しないでください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに変えておくとあとで整理するときに便利です。
  ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーカードに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダは認識されません（“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してからご使用ください。）。
- 一度パソコンのハードディスクやフロッピーディスク、MOディスクなどにファイルを保存したあとのメモリーカードは、中のファイルをすべて削除するか、フォーマットしてからデジタルカメラで使うことをおすすめします。





**＊Macintoshで扱うときの注意点**

本機で扱うメモリーカードは、ATAフォーマットで初期化されるため、Macintosh上では、メモリーカード内のすべてのファイルがテキストファイルとして見なされます。
従って、画像ファイルを開く場合には、以下の注意が必要です。

PC Exchangeで、メモリーカード内の画像ファイル（～.JPG）をJPEGファイルが開けるアプリケーションに関連付けしてください。

## カードブラウザ（HTMLファイル）機能

カードブラウザ機能とはブラウザソフトで本機で撮影した画像を一覧表示したり、撮影データを表示できる機能です。

- 本機で作成したカードブラウザは

  Microsoft Internet Explorer Ver4.01以上
  Netscape Communicator Ver4.5以上

のWebブラウザでご覧になれます。また、動画（AVI）を再生するには、QuickTime 3が必要です。

1. 【MENU】を押します。
2. 【+】または【−】で“設定”を選び【シャッター】を押します。

**3.【+】または【−】で“カードブラウザ”を選び【シャッター】を押します。**

**4.【+】または【−】で“ファイルタイプ”を選び【シャッター】を押します。**
（ファイルタイプについては98ページ参照）
これで、電源OFF時に自動的にカードブラウザ用のファイルが作成されるようになります。
“切”を選ぶと、カードブラウザ作成機能が解除されます。

- カードブラウザを作成すると、メモリーカード内のDCIMフォルダに“INDEX.HTM”ファイル他が作成されます。

**重要!**
- 本機では、電源スイッチをOFFにすると液晶画面は消灯しますが、【動作確認用ランプ】は点滅しています。この間は動作しており、自動的にカードブラウザを作成しています（カードブラウザ機能設定時）。
【動作確認用ランプ】点滅中に、下記の操作を行なうと、カードブラウザが作成されないばかりでなく、画像データ等メモリーカード内部のデータが破壊される恐れがあります。
下記の操作は絶対に行なわないでください。

**【動作確認ランプ】点滅中に**
1. メモリーカードカバーを開ける（カードを抜く）
2. ＡＣアダプターを抜く
3. 電池をはずす
4. その他異常操作を行なう

また、電池寿命末期やメモリーカードの容量が少ないときは、カードブラウザが正常に作成されない場合があります。

- 表示される言語は、表示メッセージの切り替え（39ページ）で変更できます。





### ■カードブラウザ機能の設定について

本機は、電源を切るときにカードブラウザファイルを作成しているため、メモリーカード内の画像枚数が多いと、電源が切れるまでの時間がかかることがあります。
カードブラウザファイルをご利用にならない場合は、カードブラウザ機能の設定を“切”にすることをおすすめします。
“切”にすると電源が切れるまでの時間が速くなります。

### ■タイマー撮影中のカードブラウザ機能について

タイマー撮影中は、カードブラウザ機能の設定をしていても、ショット数（撮影枚数）がすべて終了するまではカードブラウザファイルを作成しません。タイマー撮影途中にカードブラウザファイルを作成するには、一旦電源をON/OFFして、タイマー撮影をキャンセルしてください。その際、カードブラウザファイルを自動的に作成します。

## カードブラウザファイルのご利用方法

ブラウザ表示には、4種類あります。

**タイプ1：** 撮影時の情報表示と、スライドショー機能がついた高機能タイプ
- 高度なJava Scriptを使用しているので、Webブラウザのバージョンが限定されます。
（Microsoft Internet Explorer Ver4.01以上、Netscape Communicator Ver4.5以上）

**タイプ2：** 撮影時の情報表示と、軽快に画像確認が行なえるタイプ
- Webブラウザのバージョンに限定されません。

**タイプ3：** スライドショー機能がついたビュアーに徹したタイプ
- 高度なJava Scriptを使用しているので、Webブラウザのバージョンが限定されます。
（Microsoft Internet Explorer Ver4.01以上、Netscape Communicator Ver4.5以上）

**タイプ4：** 軽快に画像確認が行なえるタイプ
- Webブラウザのバージョンに限定されません。





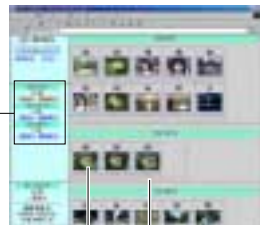
### ■機能一覧表

| タイプ | タイプ1 | タイプ2 | タイプ3 | タイプ4 |
|---|---|---|---|---|
| 情報表示 | ○ | ○ | × | × |
| 一覧表示 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ピクセル等倍表示 | × | ○ | × | ○ |
| VGAサイズ表示 | ○ | × | ○ | × |
| SXGAサイズ表示 | ○ | × | ○ | × |
| ページ送り | ○ | × | ○ | × |
| スライドショー | ○ | × | ○ | × |
| モニターフィッティング表示 | ○ | × | ○ | × |
| ムービー(AVI)再生 | ｴﾝﾄﾞﾚｽ | １動作 | ｴﾝﾄﾞﾚｽ | １動作 |

**重要!**
- タイプ1、タイプ3に設定時、スライドショーで画像を開いたときは、640×480pixelsも、1280×960pixelsと同じサイズで表示されるため粗く表示されます。
- 一覧表示ではプレビュー画像ファイル（95ページ）を使用しています。他のカメラで撮影した画像やパソコンからコピーした画像については、プレビュー画像がないために表示されないことがあります。この場合には、カメラ内でページ送りをして一度カメラの画面で表示させると、自動的にプレビュー画像が作成されます。その後、カードブラウザを表示させると、画像が表示されるようになります。

### ■カードブラウザファイルを見るには

パソコンにメモリーカード内のデータを読み込み、“DCIM”フォルダ内の“INDEX.HTM”ファイルをWebブラウザで開くと、メモリーカード内のすべての画像が一覧表示されます。メモリーカード内のデータの読み込み方は「メモリーカードの接続」（93ページ）「パソコンとの接続」（89ページ）を参照してください。

フォルダ名　画像　ファイル名

ここで“各フォルダ名”をクリックすると、そのフォルダ内画像の情報表示になります。





ファイル名　画像　画像情報

**画像情報**

| | |
|---|---|
| ファイルサイズ | ：File size |
| 画像サイズ | ：Resolution |
| 撮影画質 | ：Quality |
| 撮影モード | ：Recording mode |
| 露出モード | ：AE |
| 測光方式 | ：Light metering |
| シャッタースピード | ：Shutter speed |
| 絞り | ：Aperture stop |
| 露出補正 | ：Exposure comp |
| 測距方式 | ：Focusing mode |
| フラッシュモード | ：Flash mode |
| シャープネス | ：Sharpness |
| 彩度 | ：Saturation |
| コントラスト | ：Contrast |
| ホワイトバランス | ：White balance |
| デジタルズーム | ：Digital zoom |
| 撮影日時 | ：Date |
| モデル名 | ：Model |

ここで“一覧表示”をクリックすると、一覧表示に戻ります。

### ■各機能について

| | |
|---|---|
| 一覧表示 | パソコンにＣＦカードを接続し、DCIMフォルダ内のINDEX.HTMファイルをダブルクリックすると一番若い番号のフォルダの画像が一覧表示されます。また、左側のフレームのフォルダ名称の下の“一覧表示”をクリックすると、そのフォルダ内の画像を一覧表示できます。また、全フォルダの下の“一覧表示”をクリックすると全フォルダの画像を一覧で表示します。 |
| 情報表示 | 左側のフレームのフォルダ名称の下の“情報表示”をクリックすると、そのフォルダ内の画像と撮影時データを表示します。 |
| ピクセル等倍表示 | パソコンにCFカードを接続し、DCIMフォルダ内のINDEX.HTMファイルをダブルクリックすると、一番若い番号フォルダの320×240ピクセルサイズの画像を表示します。また、表示した画像を直接クリックすると、撮影した画像サイズにあわせ、SXGAサイズまたはVGAサイズの画像を表示します。 |
| VGAサイズ表示 | 一覧表示画面、情報表示画面で表示された画像を直接クリックするとVGAサイズ(CHILDPAGE)の画像を表示します。 |
| SXGAサイズ表示 | VGAサイズの画像を直接クリックすると、SXGAサイズ(IMAGE DISPLAY)の画像を表示します。この表示は撮影した画像サイズに関わらず、常にSXGAサイズの画像を表示します。 |

| | |
|---|---|
| ページ送り | VGAサイズの画像を表示した上側にある矢印をクリックすると、次の画像を表示したり前の画像を表示します。また、SXGAサイズの画像を直接クリックすると次の画像を表示します。ページ送りはフォルダ/全フォルダを選択できます。ただし、AVIファイルは表示されません。 |
| スライドショー | 選択されたフォルダや全フォルダの画像をディスプレイサイズに合わせて最大ウィンドウで開きます。ページ送り方は"AUTO""MANUAL"が選択できます。ただし、AVIファイルは表示されません。 |
| モニターフィッティング表示 | スライドショーで"AUTO"を選択したとき、選択されたフォルダや全フォルダの画像をディスプレイサイズに合わせて最大ウインドウで開き、約5秒間隔で次の画像を表示していきます。 |
| ムービー(AVI)再生 | AVIファイルで撮影したムービー画像を動画で再生できます。画像サイズは撮影サイズをそのまま再生しています。タイプ1やタイプ3ではエンドレスで再生し、タイプ2/タイプ4は動画を1度再生します。 |

**■カードブラウザを保存するには**

- USB端子での接続や、メモリーカードを直接読み込んだ場合は、メモリーカード内の"DCIM"フォルダごと、パソコンのハードディスクや、フロッピーディスク、MOディスクなどに保存してください。その後は、"DCIM"内のファイルを更新したり消去しないでください。新たに画像を加えたり、消去したりすると、カードブラウザが正常に表示されなくなることがあります。
- 専用ソフト（Photo Loader）を使用してもカードブラウザを保存することができます。詳しくはPhoto Loaderの取扱説明書をご覧ください。
- メモリーカードを再びデジタルカメラで使用するときは、以前のファイルをすべて消去するか、フォーマットしてから使うことをおすすめします。



# 故障とお思いになる前に

| | 現　象 | 考えられる原因 | 対　処 |
|---|---|---|---|
| 電源について | 電源が入らない | 1) 電池が正しい向きに入っていない。<br>2) 電池が消耗している。<br>3) 本機専用以外のACアダプターを使用している。 | 1) 電池を正しい向きに入れる（→34ページ）。<br>2) 新しい電池4本と交換する（→34ページ）。<br>3) 本機専用のACアダプター（AD-C620J）を使用する。 |
| | 電源が勝手に切れた | 1) オートパワーオフが働いた（→36ページ）。<br>2) 電池消耗している。 | 1) 再度電源を入れ直す。<br>2) 新しい電池4本と交換する（→34ページ）。 |
| | 画面左下部に"[電池マーク]"というマークが出た | 電池が切れる寸前である。 | 新しい電池4本と交換する（→34ページ）。 |
| 撮影について | 【シャッター】を押しても撮影できない | 1)【ファンクションスイッチ】が[PLAY]（再生）の位置になっている。<br>2) フラッシュ充電中である。<br>3)"メモリーがいっぱいです"と表示されている。<br>4) メモリーカードのメモリー容量が少ないか、メモリーカードが入っていない。 | 1) [REC]（撮影）の位置に合わせる。<br>2) フラッシュの充電が終わるのを待つ。<br>3) いらない画像を消去する。<br>4) メモリーカード内の不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットする。 |
| | オートフォーカスなのにピントが合わない | 1)【レンズ】が汚れている。<br>2) 被写体がオートフォーカスマークの中央にない。<br>3) ピントの合いにくい被写体である。<br>4) 手ぶれをしている | 1)【レンズ】をきれいにする。<br>2) 被写体を中央に合わせる。<br>3)「撮影メニュー」（→66ページ）を参照して撮影方法を変える。<br>4) 三脚を使用してください。 |
| | 撮影した画像の被写体がボケている | フォーカスが合っていない。 | ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。 |
| | セルフタイマー撮影の途中で電源が切れた | 電池が消耗している。 | 新しい電池4本と交換する（→34ページ）。 |





| | 現　象 | 考えられる原因 | 対　処 |
|---|---|---|---|
| 撮影について | 液晶画面に表示される画像のピントがあまい | 1) マニュアルフォーカス撮影モードでフォーカスがずれている。<br>2) マクロ撮影モードになっている。<br>3) 標準撮影モード（AFモード）になっている。 | 1) フォーカスを合わせる（→51ページ）。<br>2) 風景や人物を撮影する場合は、標準撮影モード（AFモード）にする。<br>3) 被写体に近すぎる場合は、マクロ撮影モード"[マクロマーク]"にする。 |
| | 室内での撮影時に、画面の色や明るさが変化する | 室内照明が蛍光灯である。 | 白熱電球など蛍光灯以外の照明を使う（→42ページ）。 |
| | ムービー撮影できない | 1) 撮影モードがムービー撮影になっていない。<br>2) 撮影できる枚数が足りない。 | 1)【撮影ダイヤル】でムービー撮影モードにする。<br>2) いらない画像を削除し、残り枚数を確保する。 |
| | 撮影したのに保存されていない | 1) 記録が終了する前に電池切れになった。<br>2) 記録が終了する前にメモリーカードカバーを開けた | 1) バッテリー残量表示が"[電池マーク]"になったら速やかに新しい電池4本と交換する（→34ページ）。<br>2) 記録が終了する前にメモリーカードカバーを開けないでください。 |
| 再生について | 再生した画像の色が、撮影時に画面で見た色と違う | 1) 太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。<br>2) 撮影時に画質設定を変えて撮影している。 | 1) 直接光がレンズに当たらないようにしてください。<br>2)「撮影メニュー」（→66ページ）を参照して撮影方法を変える。 |
| | 9画面表示で【+】／【−】が働かない | 画面が停止した状態でないと【+】／【−】は働きません。 | 画面の停止中に【+】／【−】を押してください。 |
| | 画像が表示されない | 1) DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用している。<br>2) 画像を表示するために必要なファイルが無い。 | 1) DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。<br>2) 画像を消すなどして、メモリーカードの空き容量を増やしてください。 |





| | 現　象 | 考えられる原因 | 対　処 |
|---|---|---|---|
| 再生について | テレビにつないでもテレビの画面に本機の液晶画面の表示内容が出ない | 1) 本機とテレビを正しく接続していない。<br>2) テレビ側の設定が合っていない。<br>3) ビデオ出力の方式が違う。 | 1) 専用ビデオコードを使って、正しく接続する（→88ページ）。<br>2) テレビ側の設定を合わせる。テレビに付属の取扱説明書をご参照ください。<br>3) ビデオ出力の方式を変更する（→88ページ）。 |
| | パソコンで保存した画像が本機で表示されない | パソコン上でメモリーカードの画像を呼び出し後、画像修正等を行ないメモリーカードに保存した。 | 専用ソフトを使用して、画像を転送する。 |
| 消去について | "消去"を指定しても消去指定画面に移動できない | 記録されているすべてのページにメモリープロテクトがかかっている。 | 消去したいページのメモリープロテクトを解除する（→79ページ）。 |
| その他 | 再生メニュー内で機能が選択できない | 1) 再生画像に対して機能しないものは選択できない。<br>2) 画像が1枚も入っていない。 | 1) 表示している画像ではその機能を使うことができません。<br>2) 撮影してからお使いください。 |
| | すべてのボタン、スイッチがきかない | 他の周辺機器と接続中に、静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。 | 電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから、再度操作してみてください。 |
| | 勝手にページ送りがはじまった | スクリーンセーバー機能が"入"になっている。 | スクリーンセーバー機能を"切"にしてください（→75ページ）。 |
| | 液晶画面がつかない | 1) スリープ機能が働いている。<br>2) USB通信中である。 | 1) スリープ機能を解除してください。<br>2) メモリーカードにアクセスしていないことを確認してから、USBケーブルを抜いてください。 |

## 画面に表示されるメッセージ

| メッセージ | 内容 |
|---|---|
| **圧縮に失敗しました** | 画像データ記録中に、圧縮不可状態のとき表示されます。アングルを変えて撮影し直してください。 |
| **画像がありません** | まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて消去して本機に画像が１枚もない状態では、画面にこのように表示されます。 |
| **このカメラでは表示できません**<br>**ファイル形式が異なるかファイルが壊れています** | 画像ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。 |
| **タイマー撮影がキャンセルされました** | タイマー撮影がキャンセルされました。もう一度タイマー撮影する場合は、初めからタイマー撮影の設定をし直してください。 |
| **電池がなくなりました** | 電池がなくなったときに表示されます。その後、自動的に電源が切れます。 |
| **パノラマ再生できません** | パノラマ再生する際にメモリーが足りないときに表示されます。不要な画像を消去してメモリーの空き容量を増やしてください。 |
| **フォーマットされていません**<br>**このカメラで使用するにはフォーマットする必要があります**<br>**フォーマット→MENU** | メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードのフォーマットを行なってください（32ページ）。 |
| **メモリーカードが異常です**<br>**このカメラで使用するには電源を立ち上げ直してください**<br>**それでもこの表示がでるときはフォーマットしてください**<br>**フォーマット→MENU** | メモリーカードに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作で解除が可能です。<br>**重要!** 下記の操作を行なうとメモリーカード内のすべての内容（ファイル）が消えてしまいます。下記の操作を行なう前に、パソコン等を使用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。<br>1. **【MENU】を押します。**<br>2. **【＋】または【－】で“はい”を選び【シャッター】を押します。**<br>• 操作を中止したい場合は【MENU】を押します。<br>• フォーマットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池または、リチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行なわれず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。<br>• フォーマットが終了すると、“画像がありません”と表示されます。これは、フォーマットが正しく行なわれたことを示します。 |
| | 本体にメモリーカードが入っていない場合に表示されます。<br>メモリーカードを入れてください。（31ページ） |





| メッセージ | 内容 |
|---|---|
| **メモリーがいっぱいです**<br>**画質／サイズを切り替えるか不要な画像を消去してください** | 現在の画質モードでは撮影できなくなり、他の画質モードに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。画質モードを切り替えるか、一度消去の操作を行なう必要があります(81ページ)。 |
| **メモリーがいっぱいです**<br>**不要な画像を消去してください** | • 撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行ないたい場合は、一度消去の操作を行なう必要があります(81ページ)。<br>• メモリーカードにパソコンからデータを転送したときに、メモリーカード内の空き容量が少ないために、“DCIMフォルダ”やその他のファイル（95ページ）が作成できない場合に表示されます。パソコン上でメモリーカード内のファイルを消去して、空き容量を増やしてください（【MENU】を押して、フォーマットすることもできますが、メモリーカード内のデータがすべて消えてしまいます）。 |



# 主な仕様／別売品

## 主な仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 品名 | デジタルカメラ |
| 機種名 | QV-8000SX |
| 記録画像<br>ファイルフォーマット | 静止画（パノラマ画像含む）：ＪＰＥＧ（Exif Ver.2.1)、DCF準拠(Design rule for Camera File system)、DPOF対応、動画：AVI |
| 記録媒体 | コンパクトフラッシュカード |
| 記録画素数 | 1280×960 pixels<br>640×480 pixels |
| 記録枚数／画像ファイルサイズ（可変長） | 静止画<br>1280×960<br>高精細(FINE)　約88/13枚(約500KB/枚)<br>標準(NORMAL)　約122/16枚(約350KB/枚)<br>ｴｺﾉﾐｰ(ECONOMY)　約206/29枚(約200KB/枚)<br>640×480<br>高精細(FINE)　約268/39枚(約150KB/枚)<br>標準(NORMAL)　約327/48枚(約120KB/枚)<br>ｴｺﾉﾐｰ(ECONOMY)　約418/63枚(約90KB/枚)<br>ムービー　合計約155秒／25秒　(約300KB／秒)<br>＊一度に撮影可能なムービーの最長時間は10秒です。<br>※48MB/8MBのコンパクトフラッシュカード使用時 |
| 消去 | １画像単位、フォルダ単位、全画像一括消去可能（メモリープロテクト機能付き） |
| 撮像素子 | 1/2.7インチ正方画素原色CCD<br>（総画素数：131万画素、有効画素数：125万画素） |
| レンズ | F3.2－3.5　f=6－48mm<br>（35mmフィルム換算　40～320mm相当） |
| ズーム | 光学ズーム８倍／デジタルズーム32倍（光学ズーム併用時）<br>※ デジタルズーム時は、画像サイズは640×480pixelsになります。 |
| 焦点調節 | コントラスト方式オートフォーカス<br>マニュアルフォーカス可能、マクロモード、無限遠モード、フォーカスロック付き |
| 撮影可能距離<br>（フィルター枠より） | 標準：ワイド端約0.4m～∞、テレ端約１m～∞<br>接写：約1cm～50cm（ズーム×1～×1.6）、マニュアルフォーカスにより約1cm～∞ |
| 露出制御 | 測光方式：撮像素子によるマルチパターン測光／スポット測光／中央重点測光<br>制御方式：プログラムAE、絞り優先AE、シャッター速度優先AE、マニュアル露出<br>露出補正：－２EV～＋２EV（1/４EV単位） |
| シャッター | CCD電子シャッター／メカシャッター併用<br>Bulb, 64～1/2000秒 |
| 絞り | F3.2/4.8/8　自動切替式、マニュアル切替可能 |
| ホワイトバランス | 自動／固定（４モード）、マニュアル切替可能 |
| セルフタイマー | 作動時間10秒、２秒 |
| 内蔵フラッシュ | 発光モード：自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減機能切替可能<br>フラッシュ撮影範囲：標準約0.5～2.5m、接写：約0.1～0.5m |
| 撮影関連機能 | 単写撮影、セルフタイマー撮影、ムービー撮影、パノラマ撮影、タイマー撮影、速写撮影、接写撮影、風景撮影、夜景撮影、ポートレート撮影 |
| モニター | 2.5型TFT低反射カラー液晶（HAST）<br>122.100(555×220)画素 |
| ファインダー | 液晶モニター |
| 時計機能 | クォーツデジタル時計内蔵日付・時刻：画像データと同時に記録、自動カレンダー：2049年まで |





| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 入出力端子 | デジタル入出力端子、外部電源端子、USB接続端子（専用ミニ端子）、ビデオ出力端子（NTSC／PAL標準方式準拠） |
| 電源 | 乾電池×４（単３形アルカリ電池およびリチウム電池）<br>充電池×４（単３形ニッケル水素蓄電池（NP-H3））<br>ACアダプター（AD-C620J）<br>ACアダプターチャージャー（BC-3HA） |
| 電池持続時間 | 以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。<br>［使用電池／単3形アルカリ電池 LR6／単3形リチウム電池 FR6］<br>連続再生時：約 160分／約 280分<br>連続撮影時：約 500枚撮影可能／約 1020枚撮影可能<br>アルカリ電池は松下電池工業（株）製、リチウム電池は富士写真フィルム（株）製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。<br>連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに、各撮影につきズームレンズをテレ端～ワイド端で１回動作させて撮影した場合の撮影可能枚数です。フラッシュやズームの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。 |
| 消費電力 | 約6.2W |
| サイズ | 幅142.5mm×高さ77.5mm×奥行き71mm（突起部除く、レンズを上に向けた状態） |
| 質量 | 約330g（電池、付属品除く） |
| 付属品 | コンパクトフラッシュカード８MB、ショルダー／ハンド2wayストラップ、ソフトケース、ビデオコード、CD-ROM、レンズキャップ、アルカリ電池（LR６×４本）、リモコン、リモコン用リチウム電池（CR2025×１個）、取扱説明書（保証書付き）、専用ソフト取扱説明書（インストール編） |

電源について

- 充電式電池は、別売品のニッケル水素蓄電池(Ni-MH)NP-H3をご使用ください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。
- 本機には時計専用の電池は入っておりません。単３形電池やACアダプターで電源が供給されていないと、約24時間で日時がリセットされますので、その場合は再度設定をしてください。（38ページ）
- 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99％以上の有効画素がありますが、0.01％以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

## 別売品

- テレコンバージョンレンズ　LU-8T
- ワイドコンバージョンレンズ　LU-8W
- メモリーカード　CF-8x （8MB）<br>CF-16x （16MB）<br>CF-32x （32MB）<br>CF-48x （48MB）<br>CF-64x （64MB）<br>CF-128x（128MB）<br>CF-192x（192MB）
- PCカードアダプター　CA-10
- ACアダプターチャージャー　BC-3HA
- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット　BC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池（4本セット）　NP-H3P4
- USB接続キット　QC-1U
- コンパクトフラッシュカードリーダー　CF-1RW
- パソコンリンクケーブル<br>NEC PC-9801/9821シリーズ用：　QC-1NL<br>IBM PC/AT互換機／PC98-NXシリーズ用：　QC-1DL<br>Macintosh用：　QC-3ML<br>※必ず、91ページの「パソコンリンクケーブルでの接続」をお読みください。
- QVカラープリンター　DP-8800SX<br>※他のQVカラープリンターは使用できません。

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオホームページでもご覧になることができます。

http://www.casio.co.jp